

人が輝き まちがとぎめと
ふれあい 交流都市

広報 **のぼりべつ**

2014.11
NO.769

声援を受け、笑顔でゴール

市民スポーツ・健康フェスティバル（10月5日(日)・岡志別の森運動公園）
※関連記事18ページ。

登別市功労者表彰・市表彰……………2	かるやか体操……………4	まちの将来をともに考える……………8
子ども・子育て支援新制度……………10	変わりゆく仕事と暮らし……………12	日本工学院北海道専門学校紹介……………14
財政状況……………16	皆さんからの意見を募集します……………17	東奔西走……………18
きらり……………21	くらしのガイド……………22	防災メモ・仲間たち……………20
のぼりべつの星・新着図書・不用品……………34	地域だより……………35	でいすかす……………36
		となりまち……………42

平成26年度 登別市功労者表彰・登別市表彰

登別市功労者表彰



末永 弘一さん

永年にわたり町内会役員として市政の発展と振興に尽力



佐々木 貞夫さん

永年にわたり交通安全指導員として交通事故防止及び交通安全啓発活動に尽力



内山 雅義さん

永年にわたり交通安全指導員として交通事故防止及び交通安全啓発活動に尽力



藤枝 政勝さん

永年にわたり体育団体役員として体育の振興に尽力



伊清 淳彦さん

永年にわたり町内会長として市政の発展と振興に尽力されるとともに民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力



高橋 茂樹さん

永年にわたり消防団員として郷土防災の発展と振興に尽力

問い合わせ
総務グループ
(☎85) 1130)

登別市功労者表彰・登別市表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献され、市民の模範となる行いをされた方や団体に対し、表彰を行うものです。

このたびの受賞者は、市功労者表彰6人、市表彰17人2団体（自治貢献表彰7人、社会貢献表彰8人、教育文化貢献表彰1人、篤志貢献表彰1人1団体、善行表彰1団体）で、11月3日(月)の文化の日に市民会館で表彰式が行われます。

登別市表彰

自治貢献表彰

多年にわたり町内会等役員として市政の発展と振興に尽力

渋谷 啓さん

石田 金藏さん

佐々木史年さん

松原 憲康さん

鈴木 進さん

松下 二郎さん

多年にわたり婦人会役員として市政の発展と振興に尽力
西田美枝子さん



社会貢献表彰

多年にわたり交通安全指導員として交通事故防止及び交通安全啓発活動に尽力

土田かおりさん

多年にわたり福祉団体会長として社会福祉の向上に尽力

窪田 るみさん

多年にわたり介護認定審査会委員として介護認定制度の運営に尽力

山田 淳さん

多年にわたり民生委員児童委員として社会福祉の向上に尽力
萩原 純子さん
村井美保子さん

多年にわたり職業訓練協会役員として市内経済の振興に尽力

荒川 昌伸さん

多年にわたり漁業協同組合役員として水産振興に尽力

平田 節子さん

多年にわたり学校医として児童の健康管理並びに学校環境衛生等の向上に尽力

國本 清治さん

教育文化貢献表彰

多年にわたり体育団体役員として体育の振興に尽力

藤木 晴夫さん

篤志貢献表彰

公共用地として土地を寄附され市の公益に貢献

故山崎 ハナさん

多額の金員を寄附され観光振興に貢献
野口観光株式会社

善行表彰

多年にわたり環境教育や環境ボランティア活動を通じて環境保全活動に尽力

自然愛好グループ

ヨシキリの会

特集

かるやか体操で

健康寿命を延ばしましょう!



『かるやか体操』って何だろっ?'

年齢とともに衰えやすく、膝痛などの原因となる筋力を維持・増進する足腰強化の体操や、口の健康を保つ唾液腺マッサージなどの口腔体操、脳を活性化させ認知症を予防する指体操などを総称したものを『かるやか体操』といいます。かるやか体操をすることで、あらゆる面から健康づくりをすることが出来ます。



『健康寿命』って何だろっ?'

寝たきりにならずに、元気に自立して生活できる期間のことを『健康寿命』といいます。
平成25年の健康寿命は、男性が71・19歳、女性が74・21歳。平均寿命と比べると、男性で9・02歳、女性で12・4歳の開きがあります。
つまり、この約10年の期間は、思うように歩けない、家事ができないなど、要介護状態となり自力では生活しにくくなったり、寝たきり状態となったりしている可能性が高いのです。

マ×知識!

筋肉の衰えが早いのは下半身

筋肉の衰えは全身的にみられますが、『老化は足から』と言われるように、下半身の方が衰えやすいのです。

筋力が衰えると、床からの立ち座りがつらくなり、椅子中心の生活になっていきます。

さらに、体の全体的な活動量の低下がみられ、座っている時間が多くなる、歩くのがつらい、体が重く感じる、つまずきやすくなる、階段がつらいなど、膝の痛みが生じ、下半身の筋力の衰えに拍車がかかります。

市の高齢化率は年々増加傾向にあり、今後その割合が増えることが予測されます。皆さんが生き生きと元気に暮らすためには1人1人が健康でいることが大切です。市は、『かるやか教室』を開き、『かるやか体操』を皆さんにお伝えしています。体に大きな負担をかけずに無理なく続けられる『かるやか体操』で健康づくりをしてみませんか。

かるやか体操

□つま先上げ (足腰強化の体操)

つまずきの原因となる、すねの筋肉を鍛えます。

- ①椅子に座り、足をそろえ、両膝を閉じます。
- ②すねの外側を意識して、つま先をしっかり上げます。



結成2年目



すずらんサークル

かるやか教室で習った体操を中心に、健康についての情報交換などをして、和やかに活動しています。

結成2年目



きたこぶしサークル

オリジナルの体操グッズを考案し、手づくりをして、楽しく体を動かしています。

結成1年目



ラベンダークラブ

ことしの5月から活動を始めました。みんなで楽しく体操をしています。

かるやか教室を卒業した方が、自主的に体操を継続しており、現在は10会場18教室で活動しています。
かるやか卒業教室は、かるやか教室で習った内容を基に、教室ごとに工夫した活動に取り組み、仲間づくりや外出の機会の確保、体操の継続などにより介護予防の役割を担っています。
今回は、卒業教室で独自に工夫し、活動している皆さんをご紹介します。



かるやか卒業教室

皆さんの毎日の健康づくりが健康寿命の延伸へとつながっていきます。市は、65歳以上の方が介護を必要とせず、元気に自分らしく生活していただけるよう、かるやか体操を普及啓発しています。かるやか体操を行って、健康寿命を延ばしましょう。

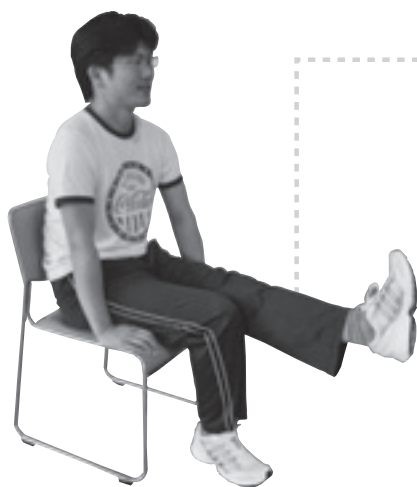
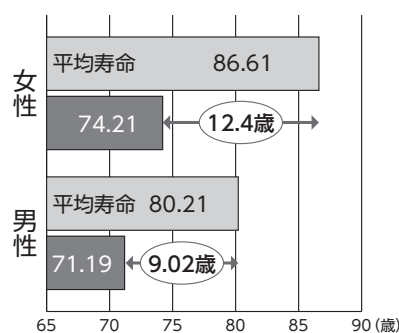
登別市の高齢化率は31.5%（平成26年8月末現在）で、市民の約3人に1人が65歳以上となります。全道の高齢化率26.8%（平成26年1月1日現在）と比べ、高い割合となっています。高齢化が進む中で、健康寿命を延ばすためには、

- ①運動・食事などの生活習慣に注意し、生活習慣病を予防する
- ②地域での人びととの交流の中で健康づくりを励む



**登別市の
高齢化率って?**

平均寿命と健康寿命の差



**ひざ伸ばし
(足腰強化の体操)**

太もも前の筋肉を鍛えます。

- ①椅子に深く腰かけ、膝を閉じます。
- ②片方のつま先を引き上げます。
- ③膝裏で椅子を押し付けるように、膝を伸ばします。
- ④つま先を外側に向けます。

最も筋肉の衰えが目立つのは太もも

特に衰えやすいのが膝の痛みに関係する、太もも前の筋肉です。太もも前の筋肉が弱ると膝に負担がかかり、膝の痛みや変形性膝関節症につながります。

**スクワット
(足腰強化の体操)**

お尻や太ももなど下半身の筋肉を鍛えます。

- ①椅子に浅く腰かけます。
- ②足を肩幅に開き、膝とつま先の向きをそろえます。
- ③膝の下につま先がくるように足を引き、膝に手をのせます。
- ④ゆっくり立ち上がります。座るときは、できるだけお尻を突き出すようにゆっくり座ります。



実践その1

結成3年目



たんぼぼ

参加者が知った新しい体操やお花見・食事をしたりして、楽しく活動しています。

結成2年目



にこにこクラブ

近所に住む方が多く、手づくりレクなども行い、和気あいあいと協力して活動しています。

結成2年目



みどり会

かるやか体操のほかにも、アイデアを出し合って、参加者が普段行っている体操を教え合っています。

結成2年目



わかばサークル

かるやか体操をしながら仲良くお話をし、いろいろな情報を交換しています。

結成2年目



なかよしクラブ

かるやか体操のほかに、ラジオ体操やお手玉、あやとりをして、仲良く活動しています。

65歳以上の方へ
かるやか教室に
参加しませんか

場所・日時

・老人福祉センター

11月11日(火)、25日(火)、12月9日(火)

10時~12時

・警別公民館

11月14日(金)、28日(金)、12月12日(金)

10時~12時

・若草つどいセンター

11月4日(火)、18日(火)、12月2日(火)、

16日(火)13時30分~15時30分

持ち物 タオル、飲み物、上履き(若草つどいセンターのみ)

※月1・2回、通年で開催しています。

※平成27年1月以降の日程は問い合わせください。

問い合わせ 高齢・介護グループ

(☎5720)



▲かるやか教室の様子

□唾液腺マッサージ① (口腔体操)

指全体で、耳の前、ほお骨の少し下を、後ろから前へ円を描くようにマッサージします。(耳下腺)



□唾液腺マッサージ② (口腔体操)

- ・親指をあごの骨の内側の軟らかい部分にあて、耳の下からあごの下までを順番に押します。(顎下腺)
- ・あごの下(舌の下)に両手の親指をあて、下から上へ押し上げるようにします。(舌下腺)



マメ知識3

□の渴きは改善できます

□が渴くようになったということはありませんか。年齢とともに唾液の分泌量が減り、ドライマウス(口腔乾燥症)の方が多くなります。

唾液には、『消化を助ける』、『免疫力を高める』など、多くの大切な働きがあります。

唾液腺のマッサージや舌・□の周りの筋肉を動かすことで唾液を分泌させ、□の渴きを改善することができます。

実践その2
 かるやか体操

□舌を動かす (口腔体操)

□を大きく開け、舌を「べー」と、できるだけ外へ出します。舌の先を、くちびるの内側(頬と歯ぐきの間)に沿ってまわします。ゆっくりと動かし、右回り、左回りの両方を行います。



結成6年目



美人草サークル

かるやか体操や歌、ゲームなどを行っています。月に1度、いろいろな場所をウォーキングします。

結成5年目



さわやかサークル

集まりのときには、みんなで楽しくお話をしながら、かるやか体操を行っています。

結成5年目



和教室

お手玉遊び、温泉や食事会などの行事も取り入れています。室内ウォーキングを行っています。

結成4年目



ハッピーフレンズ

近所に住む方が多く、かるやか体操をしながら仲良く活動をしています。

結成4年目



ななかまど

かるやか体操のほかに、昔ながらのお手玉遊びは、全身を動かせるよい運動となっています。



出張かるやか教室 町内会やサロン に市職員が出向 き、かるやか体 操を行います

対象 10〜30人程度のグループ

時間 最長2時間

内容

- ・かるやか体操
- ・脳活性化の指体操
- ・タオルやボールを使った体操
- ・体力測定
- ・健康相談
- ・健康講話（認知症予防、インフルエンザ予防など）
- ・レクリエーション

※内容は相談に応じます。

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 高齢・介護グループ

(☎05720)



▲出張かるやか教室の様子

マメ知識4

認知症は 予防できます

認知症は発症を予防し、進行を遅らせることができる可能性があります。

指先を動かすと、脳全体の血流が良くなります。左右で違う動きをするなど、少し難しいことをすると効果的です。



□ 1人ジャンケン (指体操)

右手で出したものに対して、左手は勝つものを出します。右手が『グー』なら、左手は『パー』となります。

□ 三角と四角 (指体操)

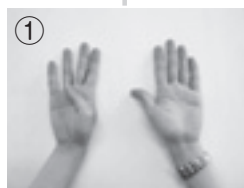
空中に、右手で三角、左手で四角を同時に書きます。



3 実践その かるやか体操

□ 指折り数える (指体操)

手のひらを外側に向け、右手の親指を先に折った状態で、指折り10数えていきます。



結成8年目



元気クラブ

かるやか教室で習った体操のほか、ラジオ体操やレクダンスを教え合って体を動かしています。

結成8年目



のびのびサークル

かるやか体操を行った後は、影絵やビンゴゲーム、折り紙、百人一首などのレクを行っています。

結成7年目



新寿の家健康サークル

かるやか体操のほか、いろいろなレクリエーションをみんなで行之ながら、楽しく活動しています。

結成7年目



ひまわりサークル

かるやか体操のほか、お花見・新年会などを企画しながら、楽しく活動しています。

結成6年目



コスモスサークル

かるやか体操のほかに、ラジオ体操や手遊びを行っています。年に1回、食事会も開いています。

まちの将来を市民と市職員がともに考える

登別市総合計画第3期基本計画の策定

およそ50年後のまちのあるべき姿に向けた総合的なまちづくりの指針として、平成8年に策定した『登別市総合計画』。総合計画には、基本構想として市が目指すまちづくりの理念やテーマを掲げ、この実現に向け、市は10年ごとに基本計画を策定しています。

今号では、現在、市民や市職員が協働で進めている総合計画第3期基本計画策定の進捗しんぱくについてお知らせします。

広く市民の意見を聞きながら策定



総合計画第3期基本計画（平成28年度～平成37年度）は、市職員による庁内検討委員会のほか、市民にも主体的に計画を検討していただくため、さまざまな市民活動団体からの推薦や公募で決定した41人の市民による市民検討委員会を設置し、市民と行政それぞれの立場から市に必要な施策などを議論するなど、広く市民の意見を聞きながら策定します。策定に当たっては、委員会の下位

組織として、福祉やまちづくりなど6つのテーマに分けた部会（『ぬくもり』、『防災・環境』、『産業躍動』、『都市調和』、『育み』、『まちづくり』）を設置し、市民と市職員が協働で策定作業を進めます。

市民検討委員会では、平成27年3月を目的に第3期基本計画の提言を市に提出することとしており、今後継続して検討を進めます。

市民検討委員会と各部会の会議録をホームページに掲載していますので、ご覧ください。

庁内検討委員会と市民検討委員会の関係

市役所

市民と市職員が対等な立場で議論し策定

市民

【庁内検討委員会】

部会

- 市職員（次長と主幹職）により構成
 - ▶ぬくもり部会
 - ▶防災・環境部会
 - ▶産業躍動部会
 - ▶都市調和部会
 - ▶育み部会
 - ▶まちづくり部会

検討事項

- 各部会において、人口推計や各地区連合町内会からのアイデア資料など、さまざまな資料を用い、計画の文案の作成を行います。
- 各部会の部会長と副部会長は、庁内検討委員会に対比する市民検討委員会の部会に出席し、市民とともに対等な立場で素案づくりに取り組みます。

今後の取り組み

- 市民検討委員会各部会の議論を踏まえ、体系図の修正などを庁内検討委員会各部会で検討し、市民検討委員会の提言を受け、計画素案を作成します。

【市民検討委員会】

部会

- まちづくりに積極的な団体からの推薦や公募により決定した市民で構成（庁内検討委員会と同じ6つの部会）

検討事項

- 市の提案する第3期基本計画体系図案について、市民が主体的に検討し、第3期基本計画に盛り込むべきまちづくりについて提言します。
- 市民は庁内検討委員会と同じ資料を用い、単に事業の要望などにならないよう、今後、登別市が住みよいまちになるために、なぜその施策が必要なのか、理由も検討します。

今後の取り組み

- 平成27年3月を目的に、各部会で議論した市民の思いを提言としてまとめ、市長に提出していただきます。

第3期基本計画は、平成27年度、パブリックコメント（意見公募）の実施などを経て、平成27年第4回市議会定例会に提案する予定です。



市民と市職員が白熱した議論を展開

市民検討委員会
防災・環境部会
部会長 江口 武利さん

10年前、第2期基本計画（平成18年度～平成27年度）の策定にも関わりました。

今回は、市が提示した計画案を、数回の会議を経て市民が了承する形でしたが、今回は、基本計画策定の目標に向かい、市民と市職員がまちの現状や思いを共有しながら、市民も要望するだけでなく、市職員と一緒に実現の手法を検討するなど、部会の参加者全員が各自の知識と経験を基に議論の主役になっています。

防災・環境部会では、高齢化が進む中、登別市の向こう10年間の防災対策や環境保全などはどうあるべきか、春から既に約10回、市民と市職員が時間を忘れ白熱した議論を行っていて、これからも議論は続きます。

この基本計画策定の取り組みや議論が、市民と行政による協働のまちづくりの新しい形になることを期待しています。



▲防災・環境部会



登別市の新たな一歩となる計画に

市民検討委員会
まちづくり部会
部会員 成田 育磨さん

札幌の大学を卒業後、生まれ育った登別市に戻ってきました。自分を育ててくれた地域のため何かできないかと、登別青年会に入って活動しています。市民検討委員会には、登別市の将来のまちづくりを議論する大切な機会と聞き参加しました。

市民や市職員と議論する場への参加は初めてですが、市民が思ったことを率直に話し、市職員も本音で語ってくれるので、会議は発言しやすい雰囲気で行われています。

まちづくり部会での議論を通し、まちの活性化のためには高齢者の施策だけでなく、若者の定住に向けた施策も必要なことだと感じています。

第3期基本計画を登別市発展の新たな一歩となる計画とするため、自分もできる限り関わっていきたく思います。



▲まちづくり部会

基本計画検討のポイント

◎今後想定される人口減少や少子高齢化など、市を取り巻く状況をしっかりと認識する必要があると思いますが、人が少なくなるからといって事業を縮小するのではなく、どのような事業に重点を置く必要があるかなどを十分検討して、『これからも登別市で暮らしたい』、『登別市に住んでみたい』と思えるようなまちづくりに向けた検討を進めています。

◎市民検討委員会は、市民が行政に要望をする場ではありません。市民は市ができること、できないことをしっかりと区別して議論することが必要で、市も市民の声を聴くだけでなく、実現に向けた課題を市民とともに考えるなど、前向きな検討を進めています。

市民も市職員も対等な立場で議論

◎市民検討委員会の各部会は、1部会当たり6人から9人までの市民により構成し、部会の会議には、庁内検討委員会部会の部会長、副部会長、事務局の職員が必ず出席し、市民と市職員が直接顔を合

せて検討しています。

◎検討に当たっては、市が作成した計画案に市民から了承をもらうような手法ではなく、市民と市職員が同じ資料を使用し、共に時間をかけながら、対等な立場で住みよいまちづくりの議論を進めています。

◎市民から提案する施策は、その実現に向けた方法なども併せて提案していただくこととしており、市民も責任を持った発言が求められます。

◎市民検討委員会の各部会に参加する市職員は、市民の施策提言などに疑問があれば、その場で実現に向けた手法などの考えも求めるなど、市民と対等な立場で積極的な議論を展開しています。

第3期基本計画に関する問い合わせは

企画調整グループ

☎(85) 1122

FAX(85) 1108

Eメール: kikaku@city.noboribetsu.lg.jp



平成27年度から 子ども・子育て支援新制度が始まります

全ての子どもが笑顔で成長できるように、また、子育てをしている全ての家庭が安心して子育てできるように、子育て支援の仕組みが変わります。

今号では、『子ども・子育て支援新制度』の概要や市の取り組みなどについてお知らせします。

1 新制度の目的

平成27年4月1日から運用が始まる子ども・子育て支援新制度は、幼児期の質の高い学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大と確保、地域の子ども・子育て支援の充実に推進することを目的としています。

新制度では、これらの目的を達成するため、市が実施主体となつて子育て中の市民のニーズを把握した上で、子ども・子育て支援事業計画を策定し、計画的な事業などを行っていきます。

2 新制度のポイント

① 幼児期の学校教育・保育を行う施設に対する財政支援の一本化

これまで幼稚園・保育所・認定こども園などへの公的な財政支援は、それぞれの制度に基づいて個別に行われてきましたが、新たに共通の給付制度（施設型給付）が創設されます。

② 認定こども園の普及促進

幼児教育と保育を一体的に提供する『認定こども園』の普及が促進さ

れます。なお、既存施設が認定こども園に移行するためには、一定の継続が必要になります。

※認定こども園は、幼稚園と保育所の役割を併せ持ち、未就学児に幼児教育と保育を提供し、地域の子育て支援を行う施設で、保護者の就労状況に関わらず利用することができます。

③ 小さな規模の保育事業を対象とした財政支援

これまで、認可外とされてきた定員20人未満の小さな規模で行う『小規模保育事業』、『家庭的保育事業』、『事業所内保育事業』、『居宅訪問型保育事業』は、市の認可事業となり、新たな給付制度（地域型保育給付）が創設されます。

④ 地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実

教育・保育施設を利用する子どもがいる家庭だけでなく、自宅で子育てを行う家庭を含む『全ての子育て家庭』を対象として、地域のニーズに応じたさまざまな子育て支援の充実を図ります。

そのために、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）などの充実が図られます。

これまでの市の取り組み ~子育てに関する制度~

○児童手当

- ▶対象 中学校修了前までの児童を養育している世帯
- ▶月額
 - ・3歳未満 1万5,000円
 - ・3歳～小学生 1万円（第3子以降は1万5,000円）
 - ・中学生 1万円
- ※養育者の所得が一定額以上のときは一律5,000円。

○特別児童扶養手当

- ▶対象 心身に政令で定める程度の障がいのある20歳未満の児童を養育している世帯
- ▶月額
 - ・重度の障がいのある児童 4万9,900円
 - ・中度の障がいのある児童 3万3,230円
- ※養育者の所得が一定額以上のときは支給されません。

○児童扶養手当

- ▶対象 18歳（心身に政令で定める程度の障がいのある児童は20歳）になる年度末までの児童を養育しているひとり親世帯
- ▶月額
 - ・4万1,020円
 - ・第2子は5,000円、第3子以降は3,000円を加算
- ※養育者の所得が一定額以上のときは減額、または支給されません。

○災害遺児手当

- ▶対象 父母または父母のいずれかが災害（交通事故、労働災害を含む）により死亡または重度の障がいの状態になった、小・中学校に在学する児童がいる世帯
- ▶月額 児童1人につき1万円

3 新制度で変わる主なポイント

① 幼稚園や保育所などを利用する際の手続き

幼稚園や保育所などを利用する際は、『認定』を受けていただくこととなります。

幼稚園：平成27年度から新制度に移行する幼稚園と、手続きや保育

料について従来どおりの運営を続ける幼稚園に分かれます。従来どおりの運営を続ける幼稚園を利用する際は、『認定』を受ける必要はありません。

詳しくは、利用予定の幼稚園に直接お問い合わせください。

保育所：新制度に移行し『認定』を受ける必要がありますが、利用手続きは、これまでと変わりありません。

新制度での認定区分

認定区分	対象	利用対象施設
1号認定	満3歳以上で、保育を必要としない子ども	幼稚園など
2号認定	満3歳以上で、保育が必要な子ども	保育所など
3号認定	満3歳未満で、保育が必要な子ども	保育所など

② 保育の利用時間

2号・3号認定の方は、『保育の必要量』によって、保育の利用時間の上限が異なります。

- ・『保育標準時間』利用：保護者のフルタイム就労を想定した利用時間（最長11時間）
- ・『保育短時間』利用：保護者のパートタイム就労を想定した利用時間（最長8時間）

③ 保育を必要とする基準

保育を必要とみなす認定（2号・3号認定）を受ける事由に、『保護者が求職活動中・就学中の場合』、『虐待や家庭内暴力を受けている、または再び受ける恐れがある場合』、『育休中の継続利用が必要な場合』が追加されます。

4 新制度における市の取り組み

市は、新制度の開始に向けて、平成26年9月に、『新制度の財政支援の対象となる施設の運営に関する基準』、『市が認可することとなる小さな規模の保育事業の設備・運営に関する基準』、『放課後児童クラブの設備・運営に関する基準』を条例で定めました。

また、今後、新制度に基づき子ども・子育て支援施策を市の実情を踏まえて計画的に実施するために、平成27年度から5年間を計画期間とする『登別市子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けた作業を進めています。

策定に当たっては、保護者の代表、子育て支援関係者、教育・保育の関係者などからなる『登別市子ども・子育て会議』を設置し、市民の皆さんのニーズ調査の実施をはじめ、さまざまな立場や視点から調査審議を行っています。

問い合わせ

子育てグループ

(☎055634)



男女共同参画社会を目指して あなたも私も自分らしく

変わりゆく仕事とくらし

問い合わせ
市民サービスグループ
(☎052139)

平成11年の男女共同参画社会基本法制定から15年が経過しました。そして近年、社会の情勢は大きく変化しつつあります。その中で、女性も男性も働きがいのある人間らしい働き方を実現するために、それぞれが意識改革を行うとともに、新しい制度に関心を持ち、理解することが大切です。

国が目指す男女共同参画のすがた ～女性が輝く社会を～

内閣が掲げる成長戦略では、女性の活躍が中核として位置付けられています。その実現のために、平成25年2月に発足した若者・女性活躍推進フォーラムにおいて、『我が国の若者・女性の活躍推進のための提言』が取りまとめられました。

①女性の活躍促進や仕事と子育て等の両立支援に取り組む企業に対するインセンティブ付与等

女性が結婚・出産とともに離職したり非正規雇用に移ったりするといった状況の解消や、女性の管理職登用

促進に取り組む企業に対し、助成金制度や税制上の措置の活用などによる支援を充実させるものです。

②女性のライフ・ステージに対応した活躍支援策

女性の妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた支援を行うという内容で、中小企業の『育休復帰支援プラン(仮称)』の策定支援や、各種助成制度の創設をはじめ、女性が再就職に向けてキャリアアップする機会を提供し、男性の家事・育児などへの参画を進めるものです。

③男女が共に仕事と子育て・生活を両立できる環境の整備

仕事と子育ての両立支援や長時間

労働の抑制、柔軟な働き方の促進など、ワークライフ・バランスを推進するため、新しい労働モデルの確立や労働法制の総合的な議論など、雇用環境の整備を進めるものです。子育てに関わる社会基盤整備の観点から、待機児童解消加速化プランも展開します。

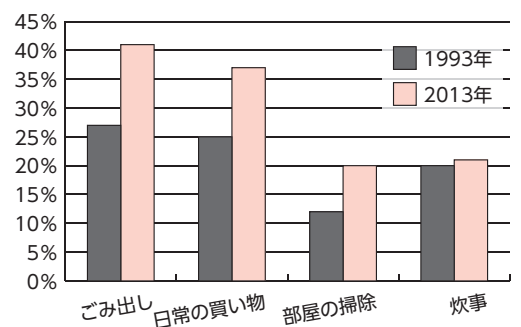
一つ一つの施策は、これまでもさまざまな視点から行われてきました。同提言は女性の活躍促進を中心に据えて全ての施策を互いに結び付け、これまで以上に積極的に女性の力を発揮させようという内容になっています。

女性が活躍するための 環境整備に向けて

政府が成長戦略の中核として掲げる、『女性が活躍する社会』を実現するための環境整備はできているでしょうか。男女共同参画社会基本法が制定されたのは、平成11年6月です。それから15年が経過しましたが、その間、社会はどのように変化しているでしょう。

国立社会保障・人口問題研究所による全国家庭動向調査が、平成5年から5年ごとに行われています。平成25年7月に行われた5回目の調査によると、『夫の家事に対する妻の

夫の家事労働への参与割合

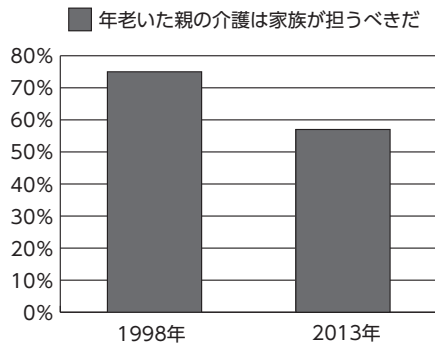
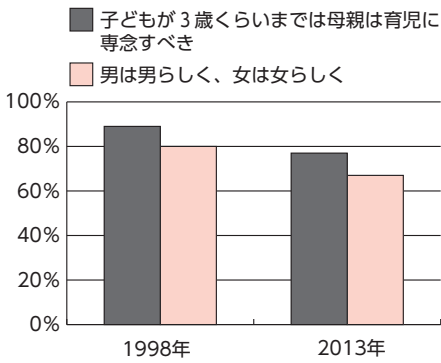


評価』は、『満足』が51・8割、『不満』が48・3割でした。この数字だけを見ると、女性が活躍する社会を支える環境は、まだまだ十分な水準に達しているとは言えません。

しかし、第1回の調査時と比較すると、各項目で夫の家事労働が増えていることがわかります。

また、家族がどうあるべきかについての意識が変化していることもうかがえます。例えば、『親の介護は家族が担うべきだ』との考えに賛成の人は、第2回調査で74・8割でしたが、今回調査では56・7割に減少しています。これは、介護保険制度の導入や、それに伴う介護施設の増加により、これらを利用しようとする家庭が増加していることによると考えられます。

家族に関する意識の変化



さらに、『男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきだ』に賛成の人も、第1回調査の80・4割から67・2割へと低下しています。15年前までは、『介護を担う家族』の多くが女性であり、『女性は家事・育児に専念すべきだ』という考えが多数を占めていたことを考えると、決して十分とは言えないまでも、女性が社会に出て活躍するための環境

は、少しずつ整備されつつあります。

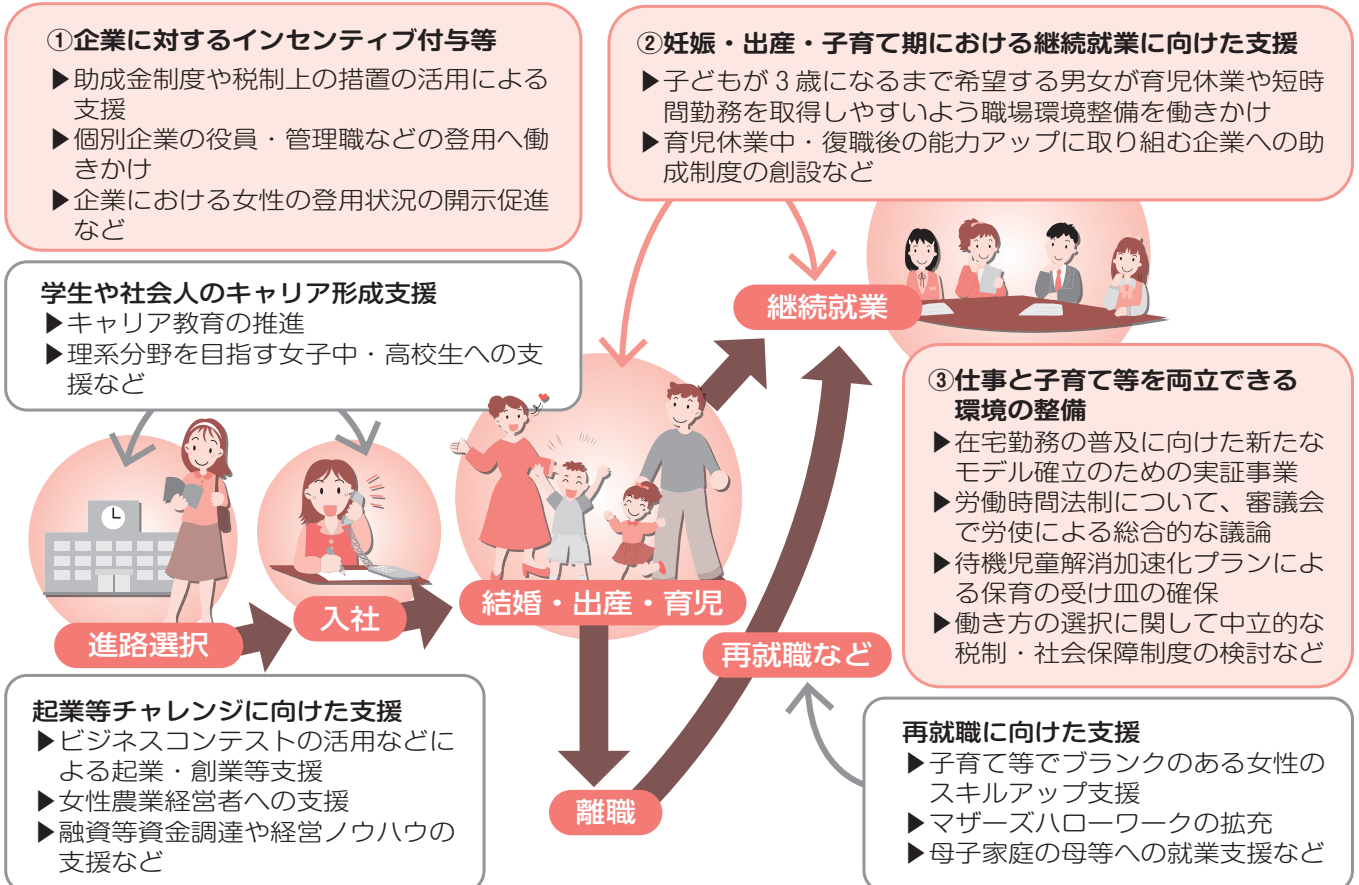
『子ども・子育て支援事業』

国は、幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援などを総合的に推進し、子育て環境の整備を推進するため、平成27年4月に『子ども・子育て支援新制度』を施行します。これらの施策については、男女の就業を取り巻く現状や家族の形態、就業スタイル、個人・社会生活などあらゆる面における条件の変化により、制度の検討や実施を行うことが求められます。

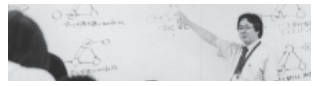
各自治体は、同制度に合わせて事業計画を策定することが義務付けられています。そこで、市は、同制度の施行に向け、専門会議を発足させました。ここでは、0歳から12歳児の保護者に実施したニーズ調査の結果をもとに、『登別市子ども・子育て支援事業計画』の策定に取り組みます。活動はまだ始まったばかりですが、地域のニーズを踏まえた子育て支援のあり方が検討されます。

このような国や自治体の施策の策定も、女性が結婚・出産後に働き続けることができる社会の実現に向けた大切な取り組みの一つです。

女性の活躍促進に向けた施策



内閣府『我が国の若者・女性の活躍推進のための提言』から引用



未来を描く、日本を描く

日本工学院北海道専門学校紹介

問い合わせ
日本工学院北海道専門学校
(☎0888)

文化や教育・福祉の充実を重点施策としてまちづくりを進める市の強い要請を受け、日本工学院北海道専門学校が開校したのは昭和57年4月。以来、夢を持ち、その道のプロとして生きていくための、専門知識と技術を修めた多くの若者たちを札幌の大地から送り出してきました。今号では、日本工学院北海道専門学校の学科や進学、就職活動のサポート体制などについて紹介します。

時代が望む エキスパートを養成

日本工学院北海道専門学校には、5つの仕事分野をカバーする9学科8コース6専攻があり、各分野の専門家を養成しています。プロフェッショナルになるための学習サポートにとどまらず、学生生活から社会に羽ばたくまでをしっかりとサポートします。

一人一人の就職力を高める 独自のバックアップ体制

入学直後に行う『就職オリエンテーション』をはじめ、『就職ガイダンス』、『就職模擬試験・模擬面接』など、年間を通して多彩な就職プロジェクトを展開。キャリアサポートセンターとクラス担任、講師陣が丸となり、学生一人一人の夢の実現をバックアップします。

就職につながる 実習中心のカリキュラム

『できること』『得意なこと』が一人一人身に付くよう、業界の第一線で活躍する現役のプロをはじめ、業界経験豊富な講師陣が丁寧に指導します。豊富な実習量と日本工学院北海道専門学校独自の実習プログラムで、即戦力となる人材を育成します。



資格取得に有利な 国家資格認定校

日本工学院北海道専門学校は、多くの国家資格の認定校です。卒業と同時にまたは実務経験を積むことで資格が取得できたり、試験の一部が免除されたりするなど、価値の高い国家資格を有利に取得できます。万全の支援体制により、毎年多くの合格者を輩出しています。

一人一人に目を配り やる気を伸ばす教職員

教職員が学生の毎日の変化に気づき、理解度に合わせて細やかな指導のできる『担任制』と、専門力を高め人間力を育む『段階型教育』で学生の個性を最大限に引き出します。学生をよく理解した教職員が、これからの社会や企業に求められるハイレベルの人材を育成します。





学科・コースの紹介

	学びのテーマ	将来の仕事	
クリエイティブ系	ゲームクリエイター科	作品のおもしろさを追求し、ゲーム制作のノウハウを習得します	ゲームクリエイター、ゲームディレクター、ゲームプログラマー、ゲームデザイナーなど
	CGデザイナー科		
	イラスト専攻	感性を磨きながら、2Dを中心としたイラスト全般の制作スキルを習得します	アニメーター、原画クリエイター、作画監督、キャラクターデザイナー、CGデザイナー、3DCGデザイナー、CGコンテンツプランナー、3DCGアニメーター、Webデザイナー、Webプログラマー、グラフィックデザイナー、漫画家など
	マンガ専攻	描画力や紙面編集など漫画に必要な知識・技術を学びます	
	3Dアニメーション専攻	アニメーション制作の高度なテクニックを習得します	
	ゲームグラフィックス専攻	ゲームに向けた3DCG制作について学び、マルチに活躍できるCGクリエイターを養成します	
Webデザイン専攻	デザイン力を身につけ、さまざまなニーズに合わせたWebサイトの制作について学びます		
グラフィックデザイン専攻	ポスターやパンフレットなどのパブリッシングデザインの制作について学びます		
IT系	情報処理科		
	ITライセンスコース	プログラミング、システム設計を習得し、技術と資格が備わったITエンジニアを育成します	プログラマー、システムエンジニア、ネットワークエンジニア、Webプログラマーなど
	パソコンマスターコース	資格取得を目標に、パソコンに強いビジネススペシャリストを目指します	一般企業の経理・事務・営業、システム管理者、公務員、プログラマーなど
テクノロジー系	自動車整備科	二級自動車整備士の国家資格取得を目指し、整備からカスタムカーづくりまでマスターします	国産車・輸入車ディーラーのメカニック、レーシングメカニック、バイクメカニックなど
	テクノロジー科		
	電気工学コース	道内唯一の電気主任技術者資格認定校で、電力関連に携わる電気技術者を育成します	エネルギー開発・設計技術者、プラント設計技術者、電気・電力設備の設計技師など
	建築学科		
	インテリアデザインコース	空間デザインやインテリアに関する知識を学び、建築業界で活躍する実力を養います	建築士、建築設計技術者、建築職公務員、建築コンサルタント、インテリアデザイナーなど
テクニカルコース	建物の設計、デザインに携わる建築家や、建築設計・施工技術者を目指します	建築士、建築設計技術者、建築職公務員、建築CADオペレーター、建築施工技術者など	
公務員系	公務員学科		
	公務員事務コース 警察官・消防士コース 土木技官コース	1年で合格できる独自システムで、公務員への夢をかなえます	国家公務員一般職（高卒程度）、土木職公務員、都道府県職員（初級）、警察官、消防士など
医療系	医療秘書科	ビジネススキルとITスキルを持った、心豊かな医療事務のエキスパートを養成します	医療事務、医療秘書、電子カルテインストラクター、病院管理、病棟クラークなど
	柔道整復科	医療現場だけでなく、スポーツ分野でも活躍できる柔道整復師を養成します	柔道整復師として独立開業、接骨院・病院勤務、スポーツ施設、福祉関連施設など

平成26年3月卒業生の
主な就職先・進学先

・IT・ゲーム・CG系

北海道旅客鉄道、フィックス、都築ソフトウェア、プロシード、働楽ホールディングス、カメラのさくら、モンテローザなど

・電気・建築系

アサヒファシリティーズ、エヌ・ティ・ティ・エムイー、岩倉建設、熊谷組、北海道電力、北海道電気保安協会、北海電気工事など

・自動車整備系

トヨタカローラ苫小牧、函館日産自動車、札幌トヨタ自動車、ネットトヨタ旭川、ピーエスジー、ホンダカーズ南北北海道など

・公務員・医療秘書系

国家公務員一般職、北海道職員初級、登別市役所、札幌市役所、むかわ町役場、北海道警察、自衛隊一般曹候補生など

・しん灸・柔道整復系

きたごうケア鍼灸整骨院、重原整骨院、TAKEDAグループ、なかざわ整骨院など

平成26年9月末の 財政状況をお知らせします

問い合わせ 財政グループ
(☎⁰⁵1331)



平成26年度各会計予算は、平成26年第1回市議会定例会で各会計の当初予算が議決され、その後、9月30日までに一般会計は5回、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計が各1回の補正を行っています。
平成26年度予算の9月末日現在における収入と支出の概況、市民の税負担の状況、市債の状況などをお知らせします。

平成26年度各会計予算の執行状況

会計名	一般会計	特別会計						合計
		国民健康保険	学校給食事業	簡易水道事業	介護保険	カルルス温泉スキー場事業	後期高齢者医療	
当初予算額	201億9,200万円	67億5,070万円	3億6,590万円	2,760万円	34億3,570万円	1億1,900万円	7億3,770万円	316億2,860万円
補正額	1,755万円	0円	0円	58万円	1,383万円	0円	0円	3,196万円
前年度繰越額	10億9,286万円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	10億9,286万円
予算現額 (9月30日現在)	213億0,241万円	67億5,070万円	3億6,590万円	2,818万円	34億4,953万円	1億1,900万円	7億3,770万円	327億5,342万円
歳入								
収入済額	99億0,695万円	24億6,759万円	9,164万円	606万円	13億4,979万円	0円	2億2,101万円	140億4,304万円
収入率	46.5%	36.6%	25.0%	21.5%	39.1%	0.0%	30.0%	42.9%
歳出								
支出済額	86億7,673万円	28億4,480万円	1億4,319万円	639万円	12億9,888万円	1,064万円	2億1,015万円	131億9,078万円
執行率	40.7%	42.1%	39.1%	22.7%	37.7%	8.9%	28.5%	40.3%
平成25年度決算額								
歳入	224億1,011万円	66億6,148万円	3億4,807万円	3,286万円	31億1,268万円	1億0,844万円	6億6,074万円	333億3,438万円
歳出	217億3,987万円	65億5,640万円	3億4,807万円	3,286万円	30億4,171万円	1億0,844万円	6億5,964万円	324億8,699万円
差引	6億7,025万円	1億0,508万円	0円	0円	7,097万円	0円	110万円	8億4,740万円

※項目ごとに表示単位未滿を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。

市債残高の状況

会計名	残高
一般会計	232億8,159万円
特別会計	
学校給食事業	1,311万円
簡易水道事業	1億1,784万円
合計	234億1,254万円

市の財産の状況

区分	面積・金額	
土地	683.7万平方㍍	
建物	29.2万平方㍍	
基金など	現金	37億4,766万円
	土地	11.0万平方㍍
債権など※	5億1,941万円	

※債権などについては、平成26年3月31日の状況です。

市民1人当たりに換算すると

市民1人当たりが負担する市税
10万2,084円

市民1人当たりに使われるお金
39万8,949円

市民1人当たりの借金の残高
45万9,593円

※市税収入、一般会計予算額、一般会計市債残高を人口で割った金額です。

人口 **5万657人**
(平成26年9月30日現在)

一時借入金の状況

9月30日現在において、借り入れはありません。

パブリックコメント（意見公募）制度に基づき 皆さんからの意見を募集します

募集期間 11月30日(日)まで

	登別市一般廃棄物処理基本計画 (案)	登別市新型インフルエンザ等 対策行動計画（案）	登別市健康増進計画（第2期） 健康のぼりべつ21（案）
概要・目的	『登別市一般廃棄物処理基本計画』は、ごみの排出抑制と再生利用、適正処理の推進を目的に、平成7年度に策定し、平成15年度に改訂したところです。 市は、平成25年度から『小型家電回収事業』の試行や、平成26年度からは白老町の可燃ごみを再び受け入れるなど、近年、ごみ処理に関わる情勢が大きく変化してきていることから、現計画を改訂することとしました。	新型インフルエンザなどが万一発生すれば、住民の生命や健康、社会や経済全体に大きな影響を与えかねません。『登別市新型インフルエンザ等対策行動計画』は、新型インフルエンザなどの感染拡大を可能な限り抑制することを目的としており、流行のピークを遅らせることで、医療体制整備のための時間の確保をすることや各発生段階に応じた総合的な対応・対策をすることなどについて示しています。	健康のぼりべつ21は、子どものころから規則正しい生活習慣を身に付け、生活習慣病の予防と重症化予防を図り、あらゆるライフステージにおいて健康づくりの推進を目指しています。 今回、『登別市健康増進計画（第1期）健康のぼりべつ21』の終了を迎えるため、この10年間の取り組みを生かしながら、健康で心豊かな生活の実現を目指す『登別市健康増進計画（第2期）健康のぼりべつ21』を策定します。
担当グループ	環境対策グループ (クリンクルセンター内) 〒059-0002 幸町2丁目5 (☎️ 2 9 5 8 ・ 📠 2 5 8 5) Eメール: cleancle@city.noboribetsu.lg.jp	健康推進グループ (しんた21内) 〒059-0016 片倉町6丁目9-1 (☎️ 0 1 0 0 ・ 📠 0 1 1 1) Eメール: shinta21@city.noboribetsu.lg.jp	
資料の閲覧	本案の全文は、市役所1階市民コーナー、各支所、市民会館、市立図書館、市民活動センター、各意見募集の担当グループに備え付けるほか、市ホームページにも掲載します。		
意見の例	『〇〇事業は、△△のように改善すれば市民が利用しやすくなる』 『条例案〇条は、△△と記載されているが、□□の理由から◇◇のような記載が必要ではないか』など、皆さんの意見をお寄せください。		
意見の提出方法	各閲覧場所に備え付けの専用用紙、または任意の用紙に①案件名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤意見を記入し、各閲覧場所備え付けの『意見箱』に投函するか、郵送またはファクス、Eメールで各担当グループに提出してください。 ※電話や来庁による口頭でのご意見はお受けできません。		
意見に対する回答	寄せられた意見に対する市の考え方は、市ホームページに掲載するほか、上記閲覧場所に閲覧ファイルを備え付けます。 ※意見を提出された方に対して個別の回答は行いません。 ※意見を提出された方の住所、氏名、電話番号は公表しません。		

パブリックコメント制度を知っていますか？

『市の基本的な構想や計画』、『市の基本的な制度を定める条例』、『市民生活や事業活動に直接または重大な影響を与える条例や規則・指針』などを策定したり改正・廃止したりするときに、市が作成した案をお知らせして意見を公募するものです。

パブリックコメントはなぜ必要なの？

市の政策決定の過程を公開し、公平性の確保と透明性の向上を図ります。
また、市民の意見を生活に大きく関わる政策や条例などに反映させることで、よりよい市政や市民参画によるまちづくりを目指すため、パブリックコメント制度を設けています。

スポーツから健康増進をはじめよう

10 / 5

市民スポーツ・健康フェスティバル

10月5日(日)、岡志別の森運動公園と市民プールで、『市民スポーツ・健康フェスティバル』（市・文化・スポーツ振興財団、北海道曹達(株)幌別事業所主催）が開かれました。

この催しは、スポーツなどを通じて市民の健康増進を図ることを目的に、毎年開催されています。

岡志別の森運動公園では、『市民ソフトボール大会』、『市民パークゴルフ大会』、『駅伝競走大会』、『ヘルスウォーキング大会』などが行われ、秋晴れの中、参加者は爽やかな汗を流しました。

『駅伝競走大会』に出場した阿達莉那さん（青葉小学校6年生）は、『タスキをうまくつなぐことができました。全力を出して走ったので、達成感でいっぱいです』と、笑顔で話してくれました。

また、無料開放された市民プールでは、『個人タイム計測』や日本工学院北海道専門学校の学生による『健康測定会』などが行われ、参加者はストレッチ体験などを通じて、自身の健康状態を再確認していました。



▲盛り上がりみせた市民ソフトボール大会



▲和やかな雰囲気で行われた市民パークゴルフ大会



▲会話の弾む露店

スマートフォンで動画を再生できます

1. GooglePlay・AppStoreから無料アプリ「junaio」をダウンロード
2. 必ずこのQRコードをスキャン
3. この左の写真にスマートフォンをかざす



地域の文化に触れる夜

のぼりべつカルチャーナイト2014

9 / 26

9月26日(金)、市内16カ所の施設を会場として、『のぼりべつカルチャーナイト2014』（同実行委員会主催）が開催されました。

この催しは、公共・民間施設などを夜間開放して、市民が地域の文化を楽しむもので、ことしで3回目の開催となります。

各施設では、体育教室やはしご車への試乗、アイヌ民族楽器の演奏など、多彩な催しが開かれ、訪れた方はそれぞれの文化活動の魅力を楽しんでいました。



▲市外の方も訪れた、アイヌ民族楽器の演奏会

年季の入った技術を披露

シルバーまつり2014

9 / 27

9月27日(土)、労働福祉センターで『シルバーまつり2014』（登別市シルバー人材センター主催）が開催されました。

約400人の市民が会場を訪れ、露店で野菜や雑貨を買い求め、飲食コーナーでは手づくりの焼き鳥や手打ちそばを堪能。屋内会場では、会員の作品展示や包丁研ぎの実演、和太鼓の演奏などに注目が集まりました。綿あめやヨーヨーすくいのコーナーもあり、訪れた子どもたちも笑顔でまつりを楽しんでいました。



▲海を見ながらウォーキングを楽しむ参加者

秋空と海の風に 包まれて

鷺別海岸海洋浴ウォーキングまつり

10月4日(土)、鷺別町で『鷺別海岸海洋浴ウォーキングまつり』（鷺別海岸イベント実行委員会主催）が開催されました。

快晴となったこの日、約200人がウォーキング・ノルディックウォーキングに参加。海を見ながら歩く方や大きな声で歌いながら歩く子どもなど、参加者は思い思いの楽しみ方で、鷺別漁港を発着点とした往復5kmを歩きました。

会場では、市内で捕獲したエゾシカの焼き肉が振る舞われたほか、野菜の直売や血圧測定、抽選会などが行われ、盛り上がりを見せました。

10 / 4

地元企業との 出会いの場を

合同企業説明会in登別

10月9日(木)、ホテル平安で『合同企業説明会in登別』（登別市雇用創造推進協議会、北海道主催）が開催されました。

この説明会は、Uターン就職希望の方や一般求職者の方へ向け、食・ものづくり関連の地元企業との出会いの場を設けることで、市内への就職を促進するものです。

企業9社が個別ブースを構え、それぞれの会社の概要や仕事内容、特色などを説明する企業担当者の話を、参加者の方は熱心に聞いていました。



▲笑顔で自社の説明をする企業担当者

10 / 9

水難事故発生時の 協力体制を強化

水難事故等に係る相互協力に関する覚書締結式

10月9日(木)、市役所で、市消防本部と室蘭海上保安部による『登別市の各漁港及び沿岸部における水難事故等に係る相互協力に関する覚書式』が行われました。

この覚書は、鷺別、富浦、登別の3漁港や長い海岸線を抱える登別市沿岸部での水難事故の発生に備え、情報共有や活動支援、合同訓練の実施など、初動対応と相互協力の強化を目的としています。

締結式で、市消防本部と室蘭海上保安部は、水難事故発生時の救助活動の迅速化に向けて、さらなる連携強化を確認していました。



▲覚書を交わす室蘭海上保安部の三國部長（左）と泉消防長

10 / 9

知って備える防災メモ

第22回



できていますか? 『暴風雪』への備え

『暴風雪』の恐れがあるときは

『暴風雪』の恐れがあるときは

雪を伴う強い風が吹くことを『暴風雪』と言います。風は強いが晴れている、と思ったり、雪を伴って一瞬で暴風雪に変わることもあるため、天気の変には注意が必要です。

気象台では、『暴風雪』によって重大な災害が発生する恐れのあるときに『暴風雪警報』を発表します。最新の気象情報をチェックし、暴風雪が予想されているときは、できる限り外出を控えましょう。

家の中にいるとき

- ・ 停電に備え、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- ・ FF式暖房機などを使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意が必要です。

車を運転するとき

- ・ 吹雪や吹きだまりなどによって車が動けなくなることを想定し、防寒着、長靴、スコップ、けん引ロープなどを用意することにも、十分に燃料があるか確認します。
- ・ 吹雪により視界が悪くなったときは、道の駅、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。



問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎) ②4249

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

合唱団あすなろ

『合唱団あすなろ』は、室蘭市で活動していた合唱団を前身として、昭和50年に発足しました。現在、21人のメンバーで、毎週金曜日の18時から21時まで、若草つどいセンターで活動しています。

「普段の活動では混声四部合唱の練習をするほか、フォークソングや童謡を歌い、時には自分たちで作詞した曲を練習することもあります」と話すのは代表の田中榊(さかき)さん。

「一人一人の歌声がだんだんと合うようになっていく過程が合唱の面白さです。みんなで声を合わせて歌うのはとても気持ちが良い、歌う人も聞く人も元気がなれますよ」と笑顔を見せます。



▲体を動かして楽しく歌う団員の皆さん

同合唱団は毎週の練習のほか、年に6回、誰でも参加できる合唱の場として『うたごえ喫茶』という会を開催したり、全道・全国規模の大会に出場し、各地の仲間と交流したりするなど、活動は多岐にわたります。

知人の誘いで活動を始めたという高橋(たかはし)勝子(かちこ)さんは、「おなかから大きな声を出して歌うと、心も体も元気になります。時には愛や平和などをテーマとした歌を歌い、遠方の仲間と交流できるのもうれしいですね」と、合唱の魅力を話してくれました。自分たちが上手に歌えるようになり、歌う喜びを多くの人に知ってもらいたいという同合唱団。見学を希望する方は田中(たなか)さん(☎) ⑧4643)まで。

おなかから大きな声を出して歌うと、心も体も元気になります

寸劇に込めた詐欺の被害防止へのメッセージ

「私たちが演じた寸劇は、独り暮らしのおばあちゃんが、離れて住む息子から電話も手紙も来なくて寂しい思いをしているところに振り込め詐欺の電話が掛かってきてだまされてしまうストーリーです。普段から、家族や友人と連絡を取り合い、コミュニケーションを取ってれば被害を防げるのでは、というメッセージを込めています」と話す藤江眞優香さん。

ことし7月、警察から、詐欺防止の寸劇を通して中学生と高齢者の交流を図りたいと依頼があり、練習を始めました。

「外部からの依頼で劇を披露するのは初めてでしたが、お話をいただいたときはうれしかったですね。練習期間が短い中、出演者のせりふが多く苦労しましたが、演出や音響など裏方を含め、部員一丸となって取り組みました。当日は、会場のおじいちゃん、おばあちゃんがここにこしなから寸劇を見てくれたのが印象的でした。寸劇を通して、家族や友人など身近な方同士で普段から声を掛け合う気配りが大切だと感じましたね」と、藤江さんは振り返ります。



▲警察官も出演した振り込め詐欺の被害防止を呼び掛けた寸劇

幼稚園のクリスマス会などでも劇を披露したい

部活動では演劇をやりたいと、演劇部のある北海道登別明日中等教育学校に進学した藤江さん。演劇を志したのは、ミュージカルの鑑賞がきっかけでした。

「小学6年生の春に初めて見たミュージカルに感動し、自分もやってみたいと思ったのが、演劇に興味を持った始まりです。依頼があれば、今度は幼稚園のクリスマス会などで、子どもたちに喜んでもらえるような劇をお見せできればうれしいですね。毎年3月に開催される文化系部活動の合同発表会では、市民の皆さんにも私たちの演劇をぜひ見てほしいと思います」と、笑顔で話す藤江さん。

ことし12月に沖縄県で開かれる全国大会への出場を控え、今日も部員とともに練習に励みます。



KIRARI

藤江眞優香さん(中央町)

8月5日(火)、市民会館で開かれた登別市老人クラブ大会演芸発表会で、北海道登別明日中等教育学校前期演劇部の生徒が、高齢者を狙った振り込め詐欺の被害防止を呼び掛ける寸劇を披露し、迫真の演技が好評を博しました。

寸劇の様子は、多くの方に見てもらおうとDVDに収録され、市民サービスグループや登別市社会福祉協議会で、町内会や老人クラブに貸し出ししています。

同学校3回生で部長の藤江眞優香さんに、寸劇に込めた思いや前期演劇部の活動などを聞きました。

市民の皆さんにも私たちの演劇をぜひ見てほしい



平成11年、登別市生まれ。15歳。幌別小学校を卒業後、北海道登別明日中等教育学校に入学し、中学生に当たる1回生から3回生までの生徒による前期演劇部に入部。昨年12月から部長を務め、部員17人のまとめ役として活動する。

くらしのガイド

市や国、道からのお知らせ

住まい



忘れずに納めましょう

市・道民税（第3期）、国民健康保険税（普通徴収第6期）、介護保険料（普通徴収第5期）、後期高齢者医療保険料（普通徴収第5期）の納期限は12月1日（月）です。

納付には口座振替やコンビニエンスストア払いが便利です。
問い合わせ 税務G（☎011-55）、国民健康保険G（☎



☎1771）、高齢・介護G（☎5720）、年金・長寿医療G（☎2137）

ご存じですか『付加年金制度』

付加年金は、毎月の定額保険料（平成26年度は、1万5千500円）に、月額400円の付加保険料を加えて納めることで、付加保険料を納めた月数に200円を乗じた額が、老齢基礎年金に毎年上乗せされて支給される制度です。
対象 国民年金第1号被保険者（自営業者、学生など）
※国民年金基金加入者は対象外です。

◎付加金額の例

付加保険料を480円月（40年間）納めた場合
・納めた付加保険料
400円×480円月×19万2千円
・受け取る付加年金（年額）
200円×480円月×9万6千円

※2年間年金を受給すると納めた付加保険料の元が取れます。より長く年金を受給するほどお得です。

問い合わせ 年金・長寿医療G（☎2137）

献血にご協力ください

日時・場所

11月21日（金）9時30分～11時・マックスバリュ登別店、13時～14時30分・JCHO登別病院、15時30分～16時30分・市民会館
問い合わせ 健康推進G（☎21内・☎0100）

11月は

児童虐待防止推進月間です

子どもを虐待から守るためには、地域の方の気付きが大切です。『もしかしたら』と感じたら、すぐに連絡してください。連絡した方の情報が他に漏れ

12月の粗大ごみ収集

申し込み（有登和清掃 ☎0200）

※土・日曜日、祝日を除く9時～17時。
※電話のかけ間違いに十分注意してください。

地区	収集期間	申込期間
新生町 3・4丁目	12月1日（月）～ 12月6日（土）	11月17日（月）～ 11月28日（金）
鷺別町 1～3丁目	12月8日（月）～ 12月13日（土）	11月25日（火）～ 12月5日（金）
新生町 1・2丁目	12月15日（月）～ 12月20日（土）	12月1日（月）～ 12月12日（金）

※粗大ごみは、1品ごとに『ごみ処理券（1枚160円）』を貼って出してください。（1回につき5品まで）

問い合わせ 環境対策グループ
（クリンクルセンター内・☎2958）

ついて、留意事項の説明など
問い合わせ 室蘭税務署
（☎24151）

単身高齢者世帯の 防火訪問を行います

期間 11月～12月末
内容 ストープやガスコンロの使用状況、住宅用火災警報器の設置状況、電気・たばこなどの火気の取り扱いについて点検し、火災予防を呼びかけます。訪問の際はご協力ください

問い合わせ 消防本部警備G
（☎2551）

年末調整説明会

日時 11月17日（月）13時30分～
場所 市民会館
対象 給与を支給している事業所
内容 年末調整の仕方、今年度の改正点、法定調書の記載方法、e-Tax（国税電子申告・納税システム）の利用に

大規模改修工事に 伴い総合体育館を 長期休館します

期間 平成27年7月上旬
～平成28年1月下旬



問い合わせ
社会教育G
（☎1129）

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

税に関する作品展

日時 11月11日(火)～17日(月)9時～17時30分

場所 市役所

内容 『税を考える週間』にちなみ、小学6年生の『税に関する標語』などを展示します

問い合わせ 室蘭税務署

(☎224151)

幌別ダムからのお知らせ

点検のため、幌別ダムに設置されているサイレンとダム下流

の胆振幌別川沿いに設置されているスピーカーの放送(チャイム、アナウンス)を実施します。

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 北海道企業局室蘭地区工業用水道管理事務所

(☎2821)

11月10日は『技能の日』

『技能士』は、技能と知識を検定する国家検定制度で、機械加工、建築大工など、全部で120職種以上の試験があります。

皆さんが大切な仕事を依頼す

募集

るときは、その人が技能士であるかどうか信用の目安になります。

技能士の事業所や自宅には、技能士の標識板を掲げていますので、工事などについてお気軽にご相談ください。

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 一般社団法人北海道技能士会

(☎011-815-1484)

自衛官・高等工科学校生

採用試験

●自衛官候補生

月日 11月28日(金)～30日(日)の指定する1日

対象 18歳以上27歳未満の男性

●高等工科学校生

月日 平成27年1月10日(土)～12日(月)の指定する1日

対象 17歳未満の男性で、中学校卒業後(卒業見込みの方を

含む)、成績優秀かつ生徒会

活動などに顕著な実績を納め、

学校長が推薦できる方

申し込み 12月5日(金)まで

月日 平成27年1月24日(出)

対象 17歳未満の男性で、中学校卒業後(卒業見込みの方を

含む)

申し込み 平成27年1月9日(金)まで

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 自衛隊札幌地方協力本部室蘭地域事務所

(☎9533)

国立北海道障害者職業能力開発校平成27年度入校生募集

受付期間 11月1日(土)～20日(木)

内容 求職中の障がいのある方の入校生(訓練期間1年または2年間)の募集

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 同校

(☎01252774)

北海道室蘭高等技術専門学院平成27年度訓練生募集

受付期間

●推薦選考 11月1日(土)～15日(土)

(土)

●一般選考 11月16日(日)～12月5日(金)

※応募方法・授業料・選考内容・応募資格など、詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 同学院

(☎443522)

赤十字雪上安全法救助員Ⅰ養成講習会

養成講習会

雪上(スキー場)でのけが人や急病人を救助し、医師や救急隊員などに引き継ぐまでの、応急の手当てができる知識と技術を習得するため、専門の指導員による講習を行います。

日時 11月9日(日)9時～17時

場所 若草つどいセンター

対象 認定証発効日から2年以上3年以内の救急法救急員の資格を有する18歳以上の方で、(公財)全日本スキー連盟の技能判定テスト2級に相当する技術を有する方

定員 10人(申し込み順)

費用 700円(教材費)

※詳しくは問い合わせください。

申し込み 11月5日(水)までに日本赤十字社登別市地区事務局

(社会福祉G内・☎1911)

市長室フリータイム

＝市長と話してみませんか＝

皆さんが市長と自由に話し合える機会を広げるため、『市長室フリータイム』を開催します。

まちづくりについて、市長と直接会って話してみませんか。

▶日時 11月26日(水) 9時30分～17時

※1人(組)30分程度。

▶場所 市長応接室、鶯別公民館、婦人センター、登別温泉ふれあいセンター

▶対象 市内に居住または通勤・通学している方

※苦情や要望、提案、個人的な問題などはお受けできません。

※申し込みのときに内容(概要)を伺います。

※当日は、報道関係者が取材する場合があります。

▶申し込み 11月10日(月)までに企画調整G

(☎6586)

第4回就職セミナー

登別職業訓練協会は、求職中の方を対象に、就職セミナーを開催しています。

今回は、『夢を希望』に変える自己理解ツールを実施します。また、グループワークを通じて自己理解やキャリアアカウンタシーによる演習も予定しています。

日時 11月20日(木)13時30分～16時30分

場所 職業訓練センター

内容 自己理解ツールの実施、グループ討議

難民の方へ衣料を送ります

持参いただいた衣料などを、NPO法人日本救済医療センターを通して、難民の方に送ります。皆様のご協力をお願いします。

日時 11月9日(日)10時～14時

場所 市民活動センター、鷺別公民館、婦人センター

搬入方法 みかん箱程度の段ボール箱に入れて持参してください

負担金 500円(1箱)

問い合わせ のぼりべつ国際交流会・田中さん (☎0797)

受け入れる物

新品の下着、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ、洗濯済みの毛布、ズボン、Tシャツ、トレーナー、セーター、ジャンパー、コートなど

受け入れできない物

スーツ、スカート、ワンピース、和服、布団、ベビー服、小物類(ネクタイ、ベルト、帽子、手袋など)など

定員 20人(申し込み順)

※詳しくは問い合わせください

申し込み 11月17日(月)までに登別職業訓練協会 (☎01450)

全国一斉『女性の権利強化週間』

日時 11月17日(月)～21日(金)8時30分～19時、11月22日(土)・23日(日)10時～17時

内容 職場におけるセクシュアル・ハラスメント、夫やパートナーからの暴力など、女性の権利に関する悩み事について

て、法務局職員や人権擁護委員が相談時間を延長して対応し、解決に導きます

専用相談電話 (☎0570-0701810)

問い合わせ 札幌法務局室蘭支局 (☎25111)

室蘭市勤労者共済センター 会員募集

当センターは、登別市、室蘭市、伊達市の中小企業の経営者と勤労者の生活安定や健康増進などの福利厚生事業を行っています。当センターに加入し、健康管理や会員相互の親睦にお役立ってください。

※詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 室蘭市勤労者共済センター (☎3670)

模範となる青少年を推薦してください

登別市青少年問題協議会は、平成26年度登別市青少年表彰を行います。

郷土登別市の担い手として、豊かな心と実践力を持ち、他の模範となる青少年を推薦してください。

対象

- ・青少年善行表彰 市内に居住する28歳未満の青少年で、その活動が特に認められ、他の青少年の模範となる方
- ・青少年団体活動者表彰
 - ①市内に居住する28歳未満の青少年で、市内に組織され、現在活発な活動を続けている青少年団体に3年以上所属し、他の青少年団体活動者の模範となる方
 - ②市内に組織されている青少年団体に5年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であり、他の青少年団体の模範となる団体

優良勤労青少年表彰

勤続年数が3年以上の市内に居住する28歳未満の働く青少年で、日常生活に誠実・精励で、職務技能の向上、研さんに努めるなどの熱意がみられ、他の働く青少年の模範となる方

申し込み 社会教育グループ備え付けの推薦書に必要事項を記入し、11月20日(木)までに提出

※登別市青少年問題協議会が表彰者を選考します。

問い合わせ 社会教育G (☎1154)

「申し込み」「問い合わせ」中の「G」は「グループ」の略です

無料法律相談

借金に関する相談・無料 弁護士による直接面談

受任時初期費用(例:自己破産20万円～)分割可

むろらん法律事務所

借金の整理・過払請求・契約書作成・売掛金請求・先物取引被害など各種相談承ります。

室蘭市中島町2丁目27-11インプレス中島402号室【要予約】相談料2回目以降3,000円

☎0143-41-3155

むろらん法律事務所 検索 民事法律扶助制度対応(応相談)



第3期管理型最終処分場

産業廃棄物を資源に。ここは、すべてが生まれ変わる場所。

R&D アール・アンド・イー

本社 登別市富浦町223-1 TEL(0143)80-2233 FAX(0143)80-2232
札幌事業所 北広島市大曲工業団地4-4-1 TEL(011)370-3232 FAX(011)370-3233

産業廃棄物収集運搬業許可 第00110098348号(道) 産業廃棄物処分業許可 第00140098348号(道)
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 第00150098348号(道) 特別管理産業廃棄物処分業許可 第00180098348号(道)

あなたのお店に絵を描いてもらいませんか

市は、商店街活性化を目的とした取り組み『登別アーティスト イン レジデンス』の一環として、事業の協力作家で若手チョークアーティストの笹森花絵さんが、市内の店舗の壁面やガラス面に店舗側の負担なく、絵を描く事業を行います。

事業に関する説明会を次のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

日時 11月10日(月)14時

場所 市役所第2会議室

持ち物 店舗全体の写真と描画を希望する壁面・ガラス面の写真



▲笹森花絵さん



▲作品例

〈作家紹介〉絵本の世界のような作品づくりを心がけ、お菓子、食べ物、動物、花などの絵を得意とする。現在、札幌を拠点に活動中。

問い合わせ 商工労政G (☎011-2171)

平成27年4月からの訓練生を募集します

ものづくり関連技能・技術の習得を目指す高等技術専門学院障がいの状態に応じて就労に必要な技能・技術の習得を目指す障害者職業能力開発校の訓練生を募集します。

●道立高等技術専門学院
・学校長推薦選考または学び直し若年者自己推薦(自動車整備科)

受付期間 11月1日(土)～15日(土)
選考日 11月20日(木)

●一般選考

受付期間 11月16日(日)～12月5日(金)
選考日 12月10日(水)

●障害者職業能力開発校
・普通課程(一般選考)

受付期間 11月16日(日)～12月5日(金)
選考日 12月10日(水)

●短期課程(一般選考)

受付期間 11月1日(土)～20日(木)
選考日 12月1日(月)

問い合わせ 室蘭高等技術専門学院(☎0143-3522)、北海道障害者職業能力開発校(☎0125-2774)

返還墓地の貸し付けを行います

申し込み 市民サービスグループ (☎011-3139)

対象 市内に住民登録があり、登別市の墓地使用权をお持ちでない方

貸し付け条件 3年以内に墓碑を建立される方

※墓地の貸し付けを受け、3年を経過しても墓碑を建立しなかった場合は、墓地使用許可が取り消しになります。この場合、納入された使用料や手数料は返還しません。

申込期間 11月5日(水)～19日(水) (土・日曜日を除く)

申し込み方法 市民サービスグループ備え付けの申込書に必要事項を記入し、提出してください(印鑑、住民票が必要です)

※申し込みは1世帯につき1区画とし、申し込みが複数となった場合は、後日抽選を行います。

※第二富浦墓地は、随時貸し付けを行っています。

墓地	造成年度	貸付区画数	1区画当たり	
			面積	使用料 (うち管理清掃手数料)
亀田霊園	昭和60年	2区画	5.0㎡	225,000円 (25,000円)
	昭和61年	3区画	5.0㎡	225,000円 (25,000円)
	昭和61年	1区画	7.5㎡	337,500円 (37,500円)
富浦墓地	昭和48年	3区画	6.0㎡	186,000円 (30,000円)
	昭和50年	2区画	6.0㎡	186,000円 (30,000円)
	昭和54年	4区画	6.0㎡	198,000円 (30,000円)
	平成6年	1区画	5.0㎡	260,000円 (25,000円)
第二富浦墓地	平成15年	1区画	10.5㎡	630,000円 (52,500円)
中登別墓地	昭和45年	2区画	12.0㎡	360,000円 (60,000円)

法律相談いたします

初回相談無料！
お気軽にご相談を！

不動産の相続登記・名義変更手続
会社の設立・役員変更登記・定款作成
過払金返還請求・債務整理・破産手続

まずはお電話！ TEL0143-81-2000
HP: <http://www.kurosaki-office.com>

黒崎司法書士事務所

登別市千歳町1-5-3 登別市役所入口踏切近く

子ども達の笑顔は未来の財産
愛おしみ、認め、育む。

私達は、子ども達の保育、教育に使命を捧げます。

登別市私立幼稚園協会

学校法人 北海道カトリック学園 学校法人 登別立正学園
登別カトリック聖心幼稚園 白菊幼稚園
登別市中央町7丁目15 T85-2414 登別市桜木町2丁目5番地3 T85-2545
学校法人 北斗文化学園 学校法人 登別立正学園
リリー文化幼稚園 コロボックルの森 白雪幼稚園
登別市登別町2丁目17 T87-2211 登別市登別本町2丁目25番地8 T83-1162



登別ブランド推奨品に応募しませんか

登別ブランド推進協議会は、『温泉のまち登別』のイメージ向上が期待される高品質な地元産加工食品を『登別ブランド推奨品』として認定し、広く宣伝することで、商品の信頼や知名度を高めるとともに、地域経済の活性化と、まちのイメージの向上を目的に活動しています。こだわりを持った自慢の商品の応募をお待ちしています。

問い合わせ
登別ブランド推進協議会
(商工労政グループ内・
☎0143-2171)

応募要件

● **応募できる方**
市内に事業所を有している事業者

● **対象となる商品**

主な原材料が市内で生産または採取されている加工食品
※原材料は、市内で生産または採取できないものに限り、北海道産も対象とします。

● **応募できる品数**

1事業者につき2品まで

応募方法

『登別ブランド推奨申込書』に次のものを添えて、11月4日(火)から12月26日(金)の17時までに、商工労政グループへ提出してください。

● **添付するもの**

特産品調査票、商品サンプル(2個無償提供)、商品カタログ(商品説明をしたもの)
※申込書は、商工労政グループと登別商工会議所に備え付けのほか、同協議会や市のホームページにも掲載しています。
※食味審査時に試食品の無償提供

推奨品の決定方法

供が必要です。

平成27年1月18日(日)に開催予定の推奨審査会を経て、推奨品を決定し、結果を通知します。
審査は、次の6つの基準に基づき、書類審査や食味審査などにより、総合的に行います。

● **審査項目**

①素材、原材料の産地、②事業所の所在地、③商品の地域性、④商品の安全・信頼性、⑤生産体制、⑥ブランド化への意欲
※審査委員は、市民、生産者が組織する組合などの役員、報道関係者、調理師など20人程度を予定しています。

推奨品に認定されると

・推奨認定された日から3年を経過する日の年度の3月31日まで、登別ブランド推奨品として推奨認定マークなどが使用可能
・ポスターやパンフレットを用いた商品のPR
・マスメディアへの広告掲載

登別ブランド推奨審査会の審査委員を募集します

- ▶ **応募資格** 市内に居住し、市内の食品加工業者と利害関係のない方
- ▶ **役割** 平成27年1月18日(日)開催予定の推奨審査会において商品説明や試食などによる審査をします
- ▶ **定員** 2人(応募者が3人以上のときは選考)
- ▶ **応募方法** 12月26日(金)までに商工労政グループ、登別商工会議所備え付け、または市や同会議所ホームページに掲載の応募用紙に必要事項を記入し、郵送またはEメールで登別ブランド推進協議会(〒059-8701 中央町6丁目11、Eメール: shoko@city.noboribetsu.lg.jp)まで申し込み

- ・同協議会ホームページ、広報のぼりべつ、登別商工会議所会報などでの商品紹介
- ・推奨認定を受けた事業者で構成される『登別ブランドの会』への参加
- ・登別ブランドのPRに向けた商談会や物産展への参加
- ・推奨品の生産・製造・販売状況などについて年1回の報告

速く! 安く! 美しく! TOTAL Printing

印刷に関するご相談は
お気軽に当社へ

BEST PRINTING
株式会社 日光印刷 登別支店

登別市常盤町3丁目30番地4 ☎(0143)81-3388. FAX(0143)47-2513

本社/室蘭市寿町2丁目3番1号 ☎(0143)47-8308. FAX(0143)47-2513
支店/札幌・伊達

皆様のプライバシーには最大限配慮いたします。

のぼりべつ法律事務所

弁護士 八木橋俊輔 札幌弁護士会

離婚・相続・消費者被害・債務整理
交通事故・その他

個人のお客様は初回相談無料です。民事扶助制度が利用できる場合は3回目まで無料です。まずはお問い合わせください。

相談は要予約

0143-83-7381

月~金 9:00~17:30
※夜間・土日は完全事前予約
登別市若山町4丁目40-5
メーブル・ベッ・ワン303号

困った!

ε = ときはまず



相談

相談名	日時	場所	相談内容	申し込み・問い合わせ ※「G」はグループの略
無料法律相談	12月20日(土) 9時30分～12時	鉄南ふれあいセンター	交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚など 担当弁護士：芝垣美男さん 定員：6人(申し込み順)	12月12日(金)までに 市民サービスG (☎052139)
くらしの無料相談 北海道行政書士会室蘭支部	11月22日(土) 9時30分～12時	鉄南ふれあいセンター	相続や遺言、各種契約、官公署に提出する書類など 定員：10人(申し込み順)	11月21日(金)までに おたに行政書士事務所 (☎063360)
市民相談	随時	市民サービスグループ	市民生活や多重債務、家庭内暴力	市民サービスG (☎052139)
消費生活相談	随時 ※登録消費者協会は火～ 金曜日の10時～16時。	消費生活センターまたは登録消費者協会(労働福祉センター内)	消費生活	消費生活センター (☎053491) 登録消費者協会 (☎058307)
人権相談所	月～金曜日 8時30分～17時15分	札幌法務局室蘭支局 (室蘭市入江町)	人権問題や家族問題、金銭トラブル、雇用や給与の問題、いじめや体罰、差別など	札幌法務局室蘭支局 (☎225111)
障がいのある方の就労相談窓口	11月20日(土) 14時～17時	障害福祉グループ	障がいのある方の就労や雇用	11月13日(木)までに 障害福祉G (☎053732)
夜間・土曜納税相談窓口	11月27日(土)・28日(金) …17時30分～20時 11月29日(土)…9時～17時	税務グループ	市税や給食費、公営住宅料、保育料などの納付(入)	税務G (☎051155)
キャリアサポートのほりべつ	水・金曜日 8時30分～17時 月～金曜日 17時以降(予約制) 土曜日 10時～17時	職業訓練センター(青葉町) 地域職業相談室(アーニス内)	就職活動などで抱える不安や悩みなど	登録職業訓練協会 (☎051450)
無料労働相談	月～金曜日 10時～16時(予約制) 11月14日(金)・28日(金) 10時～16時	登録労働会館(千歳町3丁目) 鉄南ふれあいセンター	解雇や労働条件の引き下げ、職場内のいじめ(パワーハラスメント)など	事前に連合登録 (☎053337) 希望日の1週間前までに連合登録 (☎053337)
譲渡・相続・贈与の相談	随時(予約制)	室蘭税務署	譲渡所得、相続税、贈与税	室蘭税務署 個人課税部門 (☎224151)
無料調停相談会	11月13日(土) 10時～15時 ※当日、直接会場にお越しください。	室蘭市市民会館	金銭トラブル、相続、家族問題、土地建物、交通事故などの調停手続き	室蘭調停協会 芝垣さん (☎052781)

胆振から日本を元気に!

各種無料相談・出張相談を承ります。

- 震災・原発関連 ●相続・遺言 ●交通事故
- 離婚・養育費・慰謝料 ●消費者被害(悪徳商法)
- 消費者金融・信販会社・銀行等からの借入金の整理 など

北海道みらい法律事務所 弁護士 増川 拓 (札幌弁護士会)

相談は要予約 ☎0143-83-4131

室蘭市東町2-27-4 セミナービル3階(東室蘭駅東口より徒歩1分・東室蘭郵便局となり) **P**

<http://www.hokkaido-mirai.com/>

6ヶ月から始められる習い事!!

親子ベビースイミング募集中心!!

11月のスケジュール

曜日	時間	対象
水	10:30～11:30	6ヶ月～3歳未満
土	12:30～13:30	6ヶ月～3歳未満

週1回 4,432円(税込)
週2回 5,569円(税込)

※お気軽にお問い合わせください。
随時、お子様・大人のスイミング教室も募集しております。

日本水泳連盟優秀校

JSS登録スイミングスクール

登録市若草町1丁目4番地6 TEL(0143)86-6800



すくすく
子育て

子ども虐待防止セミナー

日時 11月8日(土)14時
場所 鉄南ふれあいセンター
内容 子どもの虐待に対しての関わりを考える、参加型のセミナーです

問い合わせ 子ども虐待相談室
(☎06677)

移動子育て支援センター

日時・場所
・11月5日(水)・鷺別公民館
・11月12日(水)・であえーるはまなす

・11月19日(水)・若草児童クラブ
※時間はいずれも10時～12時。
対象 未就学児とその保護者
内容 中央子育て支援センターの職員が、遊具や絵本を持つ

て会場に伺います
持ち物 上履き(子ども、保護者とも)
※直接会場にお越しください。
※であえーるはまなすに車でお越しの場合はご連絡ください。

問い合わせ 中央子育て支援センター(☎03715)

パパとママのためのスタディ
～富岸子育てひろば～

日時 11月22日(土)10時30分～12時
場所 亀田記念公園
対象 子育て中の方
内容 たき火のおこし方や野外道具の作り方など、野外での楽しみ方を学びます

定員 15人(申し込み順)
費用 200円
持ち物 コップ
申し込み 11月21日(金)までにNPO法人登別自然活動支援組 織モモンガくらぶ(☎080-1890-0865)

出張子育てひろば
～富岸子育てひろば～

日時 11月14日(金)10時～12時
場所 夢元さざり湯駐車場
対象 未就学児とその保護者
内容 登別温泉へ行き、普段定を踏み入れることができない場所を散歩します

定員 15組(申し込み順)
持ち物 動きやすい服装・靴、飲み物、帽子、着替え
申し込み 11月13日(木)までにNPO法人登別自然活動支援組 織モモンガくらぶ(☎080-1890-0865)

とんぷrensパークの日
～富岸子育てひろば～

日時 11月22日(土)10時30分～12時
場所 亀田記念公園
対象 親子

内容 木の名札を作ります
定員 15組(申し込み順)
費用 1人100円
持ち物 動きやすい服装・靴、飲み物、帽子、着替え
申し込み 11月21日(金)までにNPO法人登別自然活動支援組

織モモンガくらぶ(☎080-1890-0865)

子育てcafe
～富岸子育てひろば～

日時 11月28日(金)10時～12時
場所 亀田記念公園

対象 子育て中の方、子育てを支援している指導者の方
内容 家計に関するお金の話
定員 15組(申し込み順)
申し込み 11月27日(木)までにNPO法人登別自然活動支援組 織モモンガくらぶ(☎080-1890-0865)

乳幼児健康相談 診査

問い合わせ 健康推進グループ(☎0100)

診査名・対象	日時	内容	持ち物	場所
4カ月児健康診査 (平成26年7月16日～平成26年8月15日生まれ)	12月24日(水) 時間は個別通知	診察、身体計測、栄養相談、育児相談	母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ	しんた21
10カ月児健康相談 (平成26年2月生まれ)	12月8日(月) 時間は個別通知	身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介		
1歳6カ月児健康診査 (平成25年5月生まれ)	12月10日(水) 時間は個別通知	診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、育児相談、フッ素塗布(希望者800円)	母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ	
3歳児健康診査 (平成23年11月生まれ)	12月4日(木) 時間は個別通知	診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談		
すくすく☆親子相談 (事前の申し込みが必要です)	12月18日(木) 9時20分～10時	発育・発達・育児・栄養などの相談	母子健康手帳	

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

ミニミニオリンピック

日時 11月27日(木)10時～12時
場所 婦人センター
対象 2歳～就学前の子どもとその保護者
内容 運動遊びを通して、親子で楽しい時間を過ごします
定員 35組(申し込み順)
持ち物 動きやすい服装、飲み物、着替え
申し込み 11月10日(月)～14日(金)に登別子育て支援センター
 (☎02772)

お餅つき体験

日時 12月11日(木)10時～12時
場所 登別子育て支援センター
対象 2歳～就学前の子どもとその保護者
定員 30組(申し込み順)
持ち物 飲み物、おしぼり
申し込み 12月1日(月)～5日(金)に登別子育て支援センター
 (☎02772)

保育所に遊びに来ませんか

日時・場所
 ・12月2日(火)・幌別東保育所

・12月4日(木)・富士・栄町・鷺別各保育所
 ・12月10日(水)・登別保育所

※時間はいずれも9時30分～11時。

対象 未就学児とその保護者
持ち物 上履き(子ども、保護者とも)、着替え
 ※直接会場にお越しください。
問い合わせ 中央子育て支援センター
 (☎03715)



介護の日のイベント

日時・場所・内容
 ①11月11日(火)10時～12時・市民会館・表情イキイキの口腔体操、イキイキ美人の栄養学
 ②11月11日(火)10時～12時・特別養護老人ホームわかかさ・音楽に合わせて体を動かす、五感にアプローチ
 ※②のみ、地域包括支援センターけいあい(☎05005)
 へ事前申し込みが必要です。
 ③11月11日(火)13時～15時・婦人センター・認知症サポートのあれこれ、認知症予防体操、

シンポジウム「認知症になっても自分らしく暮らすとは」
問い合わせ 高齢・介護G
 (☎05720)

臨床検査フェスティバル

日時 11月16日(日)10時30分～15時
場所 MORUE中島
内容 血管・肺年齢測定、疑似尿検査体験、超音波体験など
問い合わせ 市立室蘭総合病院
 (☎03455)

第4回市民公開講座

日時 11月21日(金)13時30分～15時
場所 鉄南ふれあいセンター
内容 よい睡眠でこころから
 だの健康を
申し込み 三愛病院
 (☎0111)

高齢者の季節性インフルエンザ予防接種費用を一部助成します

実施期間 11月1日(土)～12月31日(水)
対象 (1)65歳以上の方

11月の歯科救急医療	
日時	診療所・住所・電話
11月2日(日) 9時～11時	岩倉歯科 (☎457117) 室蘭市水元町12-6
	えばた歯科医院 (☎880809) 登別市新川町4丁目15-10
11月3日(月) 9時～11時	御前水歯科クリニック (☎248148) 室蘭市御前水町2丁目6-20
11月9日(日) 9時～11時	宇賀歯科医院 (☎226989) 室蘭市中央町2丁目9-10
	エルム歯科 (☎014225188) 伊達市末永町58-61
11月16日(日) 9時～11時	柴田歯科医院 (☎441022) 室蘭市中島町1丁目24-7
11月23日(日) 9時～11時	高橋歯科医院 (☎558401) 室蘭市本輪西町1丁目6-8
11月24日(月) 9時～11時	岡田歯科医院 (☎446677) 室蘭市中島町2丁目31-6
11月30日(日) 9時～11時	奥村歯科医院 (☎22366) 室蘭市母恋北町2丁目4-12

問い合わせ 室蘭歯科医師会 (☎433522)

(2)60歳以上65歳未満で身体障害者手帳1級(心臓、じん臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害に限り)を所持の方
 ※接種時に身体障害者手帳の提示が必要です。
実施場所
 登別・室蘭市内で季節性インフルエンザ予防接種を実施している医療機関
申し込み 医療機関に直接申し込みください
接種料金 1千50円
持ち物
 ①の方：介護保険料納入通知書、世帯全員の課税証明書、生活保護受給証明書のいずれか
 ②、③の方：健康保険証
問い合わせ 健康推進G
 (☎0100)

※次の方は無料となります。
 ①市民税非課税世帯や生活保護受給者世帯の方
 ②登別市の国民健康保険に加入している方(建設国保は対象となりません)
 ③登別市の後期高齢者医療制度に加入している方

わくわく

11月号

おでかけナビゲーション!



市立図書館休館情報

市立図書館は、毎月最終金曜日は、図書整理のため休館します(今月は11月28日(金))。

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

市立図書館臨時開館情報

11月3日(月)は祝日ですが、文化の日のため、市立図書館を臨時開館します。

※ご来館の運行は行いません。

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

絵本の読み聞かせ

～えほんのへやおはなし会～

日時 11月15日(土)13時30分

場所 市立図書館

対象 幼児～小学生(幼児は保護者同伴)

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

わらべうたと絵本の読み語り

～おはなしくれよん～

日時 11月19日(水)・12月3日(水)

10時30分

場所 市立図書館

対象 乳幼児(保護者同伴)

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

絵本の読み聞かせと紙芝居

～おはなしほけつと～

日時 11月22日(土)13時30分

場所 市立図書館

対象 幼児～(幼児は保護者同伴)

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

図書館ツアーと

利用者ガイダンス

日時 11月29日(土)15時

場所 市立図書館
内容 館内案内、利用者コンピュータを使った検索方法紹介
問い合わせ 市立図書館
(☎4324)

絵本の読み聞かせと紙芝居

～おじさんズ～

日時 12月6日(土)13時30分

場所 市立図書館

対象 幼児～(幼児は保護者同伴)

問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

第9回鷺別太極拳表演会

日時 11月7日(金)12時30分

場所 鷺別公民館

問い合わせ 鷺別太極拳・荒木さん(☎4190)

市民レク『ゲームを楽しむ会』

日時 11月9日(日)9時15分～12時

場所 鉄南ふれあいセンター

内容 楽しい健康体操やゲーム、昔懐かしい昼食など

参加料 250円

持ち物 動きやすい服装、上履

き、タオル、飲み物
申し込み 11月5日(木)までに登録レクリエーション協会・荒生さん(☎8636)

クリーンウォーク!

元鬼集合!!2014

日時 11月9日(日)9時～12時

場所 鷺別町、美園町、若草町、幌別町、中央町、登別温泉町、登別東町

内容 沿道のごみ拾い、懇親会

定員 100人

参加料 300円

持ち物 火ばさみ、軍手

※運営ボランティアも募集します。詳しくは問い合わせください。

申し込み 11月5日(木)までにのぼりべつ元鬼協議会・川田さん(☎2268)

市民作品展

日時 11月10日(月)13時～13日(木)12時

場所 市民会館

内容 絵画・写真・手芸品・工芸品など

※出展を希望する方は11月7日(金)までに申し込み。

問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)
日時 11月12日(水)10時～12時30分

簡単おせち料理を作ろう

日時 11月12日(水)10時～12時30分

場所 JCHO登別病院

内容 伊達巻き、サーモン巻き、ローストビーフ、水引椀

定員 8人(申し込み順)

参加料 500円

持ち物 エプロン、筆記用具、布巾2枚

申し込み 11月10日(月)までに同病院(☎3235)

オータムコンサート

『シンフォニック&ポップスステージ』

日時 11月12日(水)18時

場所 クリニクルセンター

内容 緑陽中学校吹奏楽部による演奏

定員 150人(申し込み順)

申し込み方法 11月4日(火)から市民会館、各支所、クリニクルセンターで配布する入場整理券を当日持参

問い合わせ 環境対策G(クリニクルセンター内・☎2958)

申し込み方法 11月4日(火)から市民会館、各支所、クリニクルセンターで配布する入場整理券を当日持参

問い合わせ 環境対策G(クリニクルセンター内・☎2958)

申し込み方法 11月4日(火)から市民会館、各支所、クリニクルセンターで配布する入場整理券を当日持参

問い合わせ 環境対策G(クリニクルセンター内・☎2958)

申し込み方法 11月4日(火)から市民会館、各支所、クリニクルセンターで配布する入場整理券を当日持参

問い合わせ 環境対策G(クリニクルセンター内・☎2958)

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

登別室蘭愛着育み事業

日時 11月15日(土)9時30分～12時30分

場所 亀田記念公園

対象 登別市・室蘭市在住の小

学生以下の方とその保護者

内容 自然体験遊びを通じた災

害についての学習

定員 20組(申し込み順)

参加料 1人200円

申し込み 11月7日(金)までに登

別室蘭青年会議所・工藤さん

(☎080-15581-8747)

男の料理教室

日時 11月15日(土)15時～17時

場所 ともかな

カント・レラ 閉館のお知らせ

今年度、カント・レラは11月30日(日)に閉館します。来年度の開館は、平成27年4月1日(水)を予定しています。

問い合わせ 社会教育グループ (☎011-29)

対象 男性

内容 夕食のおかずを1品と酒のさかなをつくります

定員 6人(申し込み順)

参加料 1千500円

申し込み 11月13日(木)までにと

もかな (☎03-7133)

『ニュースの深読み 学習塾2014』

登別ときめき大学連携コースの一環として、(株)室蘭民報社代表取締役社長・工藤(くわ)さん(おん)を講師に招いて講演会を行います。

日時 11月18日(火)10時

場所 市民会館

※直接会場へお越しください。

問い合わせ 登別ときめき大

ジャーナルクラブ事務局・関

さん (☎011-202)

郷土資料館特別展 『山田秀三とアイヌ語地名』

日時 11月26日(水)～平成27年1月25日(日)10時～16時

場所 郷土資料館

内容 北海道・東北各地のアイ

ヌ語地名を比較研究した山田

秀三の業績を紹介します

入館料 100円(小・中学生60円)

問い合わせ 郷土資料館

(☎011-3339)

郷土史の夕べ

日時 11月18日(火)18時

場所 市民会館

内容 敗軍の将輝く～榎本武揚(えののもとむねあき)の生きざまから見えるもの～

問い合わせ 登別郷土文化研究

会・佐々木さん (☎052-13)

3)

朗読ボランティア体験学習

日時 11月20日(木)13時30分～15時

場所 しんた21

持ち物 筆記用具・上履き

申し込み 11月14日(金)までにポ

ランティアセンター (☎011-20800)

プラタナス講演会

日時 11月29日(土)13時30分～15時

場所 市民会館

内容 英語講師による講演

『「ト」共和国と室蘭市、登

別市に住んでみて感じたこと』

参加料 100円

問い合わせ 安達さん

(☎055-7845)

メンタルヘルス講座

日時 12月11日(木)14時～16時

場所 しんた21

内容 うつ病を抱えている方との接し方について

定員 50人(申し込み順)

申し込み 12月4日(木)までに三

愛病院 (☎03572)

市民ミニバレー大会

日時 11月30日(日)9時～(8時45分までに受け付け)

場所 総合体育館

内容 一般の部(男子・女子)、競技者の部(男子・女子)

※1チーム4人または5人。

参加料 1チーム3千500円

申し込み 11月4日(火)～14日(金)

に参加料を持参して総合体育館 (☎055552)

第5回くらしの安全・安心セミナー

日時 12月1日(月)10時30分～12時

場所 市民会館

内容 LPガス・天然ガスの基礎知識について

問い合わせ 登別消費者協会 (☎011-8307)

『2015年の私へ』 原稿をお寄せください

市民の皆さんのまちづくりへの思いや身の回りの出来事について感じたこと、新年を迎える自分への激励などを募集します。

寄せられた原稿は、広報のほりべつ平成27年1月号の特集で紹介いたします。

- ▶対象 小学生以上の方
- ▶内容 任意の様式で400字程度
- ▶投稿方法 封書またははがき、ファクス、Eメールのいずれかに住所・氏名・年齢・電話番号を記入して投稿
- ※匿名での掲載を希望する方は『匿名希望』と明記してください。
- ▶締め切り 11月28日(金)(必着)
- ▶投稿先 企画調整グループ(〒059-8701 中央町6丁目11・☎056586・FAX 051108・Eメール: pr@city.noboribetsu.lg.jp)

市民活動センター『のぼりん』からのお知らせ



のぼりん文化講座

登別歴史散歩 第4回 (全5回開催)

—地霊に導かれて、そこに立つ—

日時 11月18日(火)9時～12時

内容 バスに乗って市内を巡検し、登別の歴史を学びます

定員 20人 (申し込み順)

持ち物 ノート、筆記用具

申し込み 11月14日(金)までに市民活動センター
(☎☎6866)

大正琴無料体験教室

日時 11月20日(木)13時30分～15時

内容 やさしい曲から練習します

定員 5人 (申し込み順)

持ち物 筆記用具

申し込み 11月17日(月)までに市民活動センター
(☎☎6866)

江差追分道場

日時 11月22日(土)14時～16時

内容 江差追分のうたい方を学びます

定員 20人 (申し込み順)

持ち物 筆記用具

申し込み 11月19日(水)までに市民活動センター
(☎☎6866)

囲碁教室

日時 11月29日(土)10時～12時

対象 小学生以上の方

内容 講師による対局指導を行います

定員 20人
(申し込み順)

申し込み
11月26日(水)
までに市民
活動センタ
ー (☎☎6
866)



子ども将棋教室

日時 11月30日(日)10時～12時

内容 日本古来のゲームを楽しみます

定員 10人 (申込順)

※小学生は保護者同伴。

申し込み 11月27日(木)までに市民活動センター
(☎☎6866)

のぼりんナイト・カルチャー

初心者向け『デジタルカメラ』教室 第2回 (全3回開催)

日時 11月27日(木)19時～20時30分

内容 撮影の構図とコツ

持ち物 デジタルカメラ、ノート、筆記用具

定員 15人 (申し込み順)

※既受講者を優先します。

参加料 500円

申し込み 11月25日(火)までに市民活動センター
(☎☎6866)



のぼりん展示コーナー

布っこ会員 作品展

月日 11月5日(水)～
10日(月)

内容 布創作サーク
ルの展示会です

問い合わせ 菅井さ
ん (☎☎6895)



市内小学生児童画展

～健康生活ネットワークのぼりべつ～

月日 11月12日(水)～14日(金)

問い合わせ 杉山さん (☎☎2912)

『たちばな湖の伝説』—影絵の写真展— ～おはなしポケット～

月日 11月17日(月)～22日(土)

問い合わせ 須藤さん (☎090-6997-8256)

のぼりん文化講座『陶芸教室』展示会

月日 11月17日(月)～25日(火)

内容 陶芸教室の受講者による展示会です

問い合わせ 佐藤さん (☎090-8278-7549)

「申し込み
問い合わせ」

中の「G」は「グループ」の略です

ふおれすと鉱山に遊びに行こう

申し込み・問い合わせ ☎ 2569



ガイドウォーク

月日 11月11日(火)、12月4日(休)
対象 18歳以上の方
内容 ふおれすと鉱山周辺の自然をネイチャーガイドがご案内します
参加料 300円
持ち物 野外で活動できる服装、飲み物、防寒着

おとなの木エクラフト

日時 11月11日(火)10時～14時
対象 18歳以上の方
内容 木べらづくりに挑戦します
参加料 500円
持ち物 汚れてもよい服装、エプロン、軍手

森のちょこっと子育てひろば

日時 11月5日(水)、12日(水)・19日(水)・26日(水)10時～12時
対象 未就園児とその保護者
内容 外遊びを中心に活動します(雨天時は屋内で活動します)
参加料 1組300円(1人増えるごとに100円)
持ち物 野外で活動できる服装、飲み物、昼食

たまにはアウトドアライフ 晩秋のんびり山登り

日時 11月20日(木)10時～14時
場所 見晴公園
対象 18歳以上の方
内容 秋の自然を楽しみながらカムイヌプリを登ります
定員 15人(申し込み順)
参加料 800円
持ち物 野外で活動できる服装、飲み物、昼食、防寒着
申し込み 11月19日(水)までにふおれすと鉱山

FKR'14 種子調査～植物の種いろいろ!

日時 11月13日(木)10時～12時
対象 4歳以上の方(小学4年生以下は保護者同伴)
内容 ふおれすと鉱山周辺の種子の調査を行い、植物たちの知られざる戦略を学びます
参加料 100円
持ち物 野外で活動できる服装、飲み物、防寒着

里山づくりの日

落ち葉・炭焼きの日

日時 11月22日(土)10時～12時
内容 里山で落ち葉遊びを楽しみ、炭焼きをします
定員 30人(申し込み順)
参加料 200円(小学生以下100円)
持ち物 野外で活動できる服装、飲み物、昼食
申し込み 11月21日(金)までにふおれすと鉱山

利用者懇談会～一般編～

日時 11月30日(日)10時～12時
対象 18歳以上の方
内容 ふおれすと鉱山がもっと良くなるように、利用者の皆さんから広く声をいただきます
持ち物 野外で活動できる服装

子育てフォーラム

日時 12月6日(土)10時30分～15時
対象 子育て中の方、子育て支援に携わる方
内容 子育てに関わる講座と森の中の子育て体験プログラムを行います(託児あり)
定員 50人(申し込み順)
参加料 300円(小学生以下100円)
持ち物 体験プログラム参加の場合、野外で活動しやすい服装・靴
申し込み 12月5日(金)までにふおれすと鉱山

時代が変わっても、
あたたかさはかわらない。

 **第一滝本館**

ご予約・お問合せは
 ☎(0143)84-2111 <http://www.takimotokan.co.jp>
 登別市登別温泉町55番地 info@takimotokan.co.jp

・四季折々
・海鮮満載
・美味万来

浜小屋 らんぽっけ

登別ブランド認定品

らんぽっけ たらこ

地方発送OK!

・紅鮭・イクラ・干しがレイ
・イカー夜干し・鮭とばソフト
・開きホッケ・その他海産品

前浜産 **毛ガニ** 販売中

有限会社 **武澤水産** 本社/登別市富浦町1丁目24の7 水曜日 定休
 T83-3466 F83-3757



ことし10月1日から、外国人旅行者向けの消費税免税制度が改正され、食品などの消耗品を含めた全ての品目が免税対象となりました。

海外からの旅行者が増加する登別温泉街で、大正時代から『大黒屋民芸店』を営む北海道熊笹本舗(有)は、いち早く新しい免税制度を活用し、外国人旅行者に地場産品を積極的に売り込みます。社長の坂井昭一さんは、「何より買い物を楽しんでいただける環境づくりが大切です」と語りま

同社は、免税制度の活用のほかにも、製品の『登録ブ

発見のぼりべつの星!

企業編⑱ 北海道熊笹本舗(有)

『熊笹』を使った食品や化粧品の開発にも力を注ぎます。坂井さんは大学時代などに首都圏での暮らしを経験し、外部の目でふるさとを眺めたことで、良さが見過ごされている資源の多さに気付きました。そして、地元で豊富に採れる熊笹を使って、魅力的な商品の開発に取り組みようになりました。

「地元の産品でお客さんに喜んでもらうのが使命です。使命を全うし、楽しい時間を提供することができればうれしいです」と、坂井さんは熱意を込めて話します。

【沿革】
大正3年 大黒屋民芸店創業
平成16年 北海道熊笹本舗有限会社設立

【北海道熊笹本舗有限会社】
所在地 登別温泉町60番地
電話番号 043314
事業内容 熊笹製品の製造、食品・民芸品販売など

不用品ダイヤル市

申し込み・問い合わせは
登別消費者協会 (☎058307)
火～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

※申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です。継続希望の場合は、再度申し込みください。

▶登録できないもの
衣類、食料品、貴金属、美術品などの高価なもの、自動車、バイク、船、傷みの激しいものやあっせん品としてふさわしくないもの

ゆずります(売ります)

- ひな人形(7段) ●パソコン ●洋裁用ボディ(M) ●学習机(木製)
- 折り畳み式食卓テーブル(木製・茶色) ●日本人形(ガラスケース入り・高さ50センチ)
- 日本人形(ガラスケース入り・高さ40センチ) ●ジュースー ●鏡台(引き出し付き・110×65×35センチ)
- テレビ台(50×41×115センチ) ●スチール製脚立(23×47×88センチ) ●学生用革靴(28センチ)
- 布製陸上競技用靴(26.5センチ) ●スパイクタイヤ(185-70SR14・ホイール付き) ●掃除機 ●テレビ(12型) ●二槽式洗濯機 ●電子ピアノ ●カメラ(フラッシュ付き) ●大正琴 ●女子用自転車(補助輪付き・18インチ) ●革靴(黒色・24.5センチ・3足) ●囲碁セット ●将棋セット ●スピーカー(39×27×26センチ) ●歩くスキーセット(青・靴25センチ) ●ウオーキングシューズ(茶色・26.5センチ) ●円筒用はしご(取り付けセット・184センチ) ●車のチェーン(65～13センチ) ●生寿司用樽(高さ23センチ・直径40センチ) ●生寿司用樽(高さ25センチ・直径36センチ)

ゆずってください(買います)

- 自在かぎ ●クラシック音楽オルゴール ●男子用靴(黒、21・22センチ)
- 男子用ワイシャツとネクタイ(身長120～130センチ) ●ぶら下がり健康器 ●婦人用自転車(26インチ) ●鉄瓶

ほん

今月の新着図書

市立図書館 ☎054324

かわうそ



あさの あつこ 著
太物問屋『あたご屋』の一人娘お八重の人生は、川瀬と名乗る男に出逢った瞬間から一変する。その日から、お八重の周りには、謎や死、災厄が忍び寄り…。

- ◇明日は、いすこの空の下 上橋菜穂子 著
- ◇ラストレター さだまさし 著
- ◇極窮 仙川 環 著

=こどものほん=

おはなしばあさんと風来坊 川端 誠 作・絵
『かみなりばば』と呼ばれる偏屈ばあさんの家に泊めてもらうことになった風来坊。前は昔話の得意な、やさしいばあさんだったときいて…。木彫りの風来坊の、心あたたまるお話。

- ◇ようかいガマとの おEDでうちゅうじん よしながこうたく 作
 - ◇ドラゴンはスーパーマン 茂市久美子 作
 - ◇真夜中の電話 ロバート・ウェストール 作
- ※市立図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

地域だより

町内会のいきいき実践活動を紹介

花壇コンクールを開催しました

登別市連合町内会主催の、『花いっぱい推進運動』の『花壇コンクール』には、市内13町内会と個人1人が参加しました。町内のごみステーション15カ所すべてに花のプランターを飾り、美化活動を推進している若草第二町内会に環境特別賞を贈呈しました。

11月上旬から、花壇コンクール写真展を、市民会館や各支所など6カ所で開催します。

コンクールの結果は次のとおりです。

〈町内会部門〉

最優秀賞

幌別鉄南第7町内会

優秀賞

幌別鉄南第6町内会

幌別第二町内会

はまわし町内会

汐平町内会

新生町内会

若草町内会

優良賞

鷺別2丁目町内会

はまなす町内会

新生町望洋町内会

若緑町内会

新和会

環境特別賞

若草第二町内会

〈個人部門〉

優良賞

馬場 良子さん

(新生町内会)



▲馬場良子さんの花のプランター (優良賞)



▲若草第二町内会ごみステーションの花のプランター (環境特別賞)



▲幌別鉄南第7町内会の花壇 (最優秀賞)



小・中学校合同の津波避難訓練

平成18年から毎年行っている津波避難訓練を今年も実施し、幌別鉄南地区8単位町内会、幌別東小学校、幌別中学校の全児童・生徒約600人が参加しました。児童・生徒が自宅にいる場合を想定した訓練では、中学生がリヤカーを引き、避難路の要所に立つて、参加者を避難場所の幌別中学校まで誘導してくれました。

幌別鉄南地区連合町内会

会長 山田 正幸

41年間続く町内会運動会

第41回目の運動会は、幼児から94歳の方まで約60人が参加しました。

役員で公園周辺の草刈りを行い整備したグラウンドでは、親子で一緒に走る『親子競走』や『紅白リレー』など全11種目を行い、心地よい汗を流しました。昼食を兼ねた懇親会も開催され、楽しいひとときを過ごしました。

中央新生町内会

会長 今 平人





議会だより

でいすかす

75号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2014.11.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます

介護、防災、人口減少などで12名が質問した!

平成26年第3回定例会が9月5日から9月18日までの14日間の会期で開催され、議案19件、報告7件、意見書案4件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

各議員の一般質問の内容は37ページから、可決した案件は41ページにそれぞれ掲載しています。

市民・前進

議会における一般質問は、議員全員が定例会ごとに行うことができる。今回は議長を除く会派所属議員全員が一般質問を行った。一般質問は議員にしか与えられていない権利である。政策論争における大切な機会であるものとしてとらえており、意義ある定例会だった。

会派会長 山口 賢治
幹事長 工藤 健一
松山 哲男 高橋 正美
天神林 美彦 成田 昭浩
米田 登美子 二瓶 秀幸

市政クラブ21

定例会中、大雨特別警報に加え、土砂災害警戒情報が発表され、幸い大事には至らなかったものの、警戒・警戒の中での議会であった。当会派からは杉尾直樹議員が「将来の消火力のあり方」について、多種多様な災害に対応できる消火力の強化を訴えたことはこの時期、意義があった。

会派会長 沼田 一夫
幹事長 杉尾 直樹
上村 幸雄 山田 新一
佐藤 弘子

公明党

本定例会において、少子高齢化、人口減少社会を背景に各議員の質問は、喫緊の課題として地域包括ケアシステム構築・人口減少・高齢化の進行に伴う影響・認知症対策・第6期介護保険事業計画の策定など、将来の登別市の重要な課題等を問題提起した。今後の推移を見ていきたい。

会派会長 木村 純一
幹事長 村井 寿行
木村 俊子

清新

一般会計補正予算に登別中学校及び市民プールの2施設の老朽化や経年劣化という原因で、合わせて一千万円規模の整備が必要な事業が提出された。こうした事態が別の施設でも起きていないのか、つまり、組織内における横断的な「横展開」が重要と思われるが、果たして実行されるか今後注視していきたい。

会派会長 石山 正志

日本共産党

市民生活にズシンとのかかってくる消費税8%増税と社会保障の削減の中で9月議会。一般質問では、介護保険制度の内容が後退し、市民へのサービス低下があつてはならないこと、保護者の貧困が子供の学びに影響させない教育行政のあり方等を指摘した定例会であった。

会派会長 渡辺 勉
幹事長 佐々木 美子



生活・福祉委員会（付託案件審査）

本定例会で生活・福祉委員会に付託された議案6件について、9月5日に資料要求のための委員会を開催し、9月12日に審査を行いました。

議案は

- ① 登別市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について
- ② 登別市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- ③ 登別市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- ④ 登別市条例の一部改正について
- ⑤ 登別市児童デイサービスセンター条例の一部改正について
- ⑥ 登別市障害者地域活動支援センター事業条例の一部改正について

それぞれ質疑を行い、④については賛成多数で、他は全会一致で原案どおり可決しました。

観光施策・公共施設の管理について

木村 俊子



北海道新幹線の開業・東京オリンピックを好機ととらえ観光振興を図るべき。情報発信・プロ

モーション事業に取り組み。2次交通整備事業については、新幹線の座席数に比べ、スーパー北斗などの接続列車の輸送力が下回ることから、函館からの直行バスなどを検討する。受入環境の整備事業については、老朽化が進む地獄谷や大湯沼、天然足湯を結ぶ遊歩道の改修を進める。また温泉地区の緑化整備を検討。白老町に「民族共生の象徴となる空間」が開設されることから、白老町との連携を図り一体的な取り組みを行っていく。

● 公共施設を安全に使用できるように管理を十分に行うべき。

○ 公園、墓地、水道施設を除く公共施設は119施設。このうち市が直接管理する施設は54施設。指定管理者が管理する施設は老人憩の家や市民会館など65施設。また公共施設の老朽化の状況は、築後30年を経過している施設が7割を超え、必要に応じて補修を行い延命化を図っている。給食センターは、耐震診断で基準値が大きく下回るが修繕を実施しながら、給食センターの建て替えも視野に入れて対応する。

防災資機材購入整備費補助金などについて

山口 賢治



平成26年度より、登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱の一部が改正されました。今回の

質問の一つ目として、その内容と対象団体への周知方法を聞きました。改正内容としては当初配備した防災資機材が15年以上経過し、老朽化していることから、防災資機材の再交付申請の要望があり、これまで活動してきた自主防災組織の意見を確認しながら、補助対象品目を追加するとともに、当初の補助から10年以上経過した自主防災組織に対して2回目の補助が受けられるようにしたということでした。

また周知方法については、特定の対象団体に口頭で伝えただけと言ったので、公平性という観点より、連合町内会の事務局を通し、市内単一町内会へ周知徹底する事を確約させました。

質問の二つ目として、老朽化した登別温泉浄水場を建て替えるとした場合には、登別温泉小学校跡地を利活用すべきではないかと問いました。理事側は、建て替えるとした場合には、有力な候補地となるという考えを示しました。

各種データの分析による施策策定を

松山 哲男



人口減少や高齢化が急激に進む中で、従来の考えから脱皮し、人口等の予測などを踏まえた行政経営

が必要かつ重要なことから、「人口減少・高齢化の進行に伴う影響とそれに対応する行政経営について」の大綱1件について提起を交えて質問した。

その1項は、学校区による市内5地区の人口推移と予測をただし、各地区の高齢化率などの把握・分析とそれによる適切な取り組みの大切さを指摘した。2項では、人口減少の進行に伴う影響とそれに対する行政経営を視点に

① 行政サービスの限界も生じることから、地域コミュニティの再構築に目を向け、会派視察先の佐賀市の事例を紹介し、町内会など各種団体への取り組み

② 空き家の実態調査をし、空き家の撤去と有効利用への対応といった空き家問題への取り組み

③ 限られた行政職員や財源などから、効率的な行政運営を視野に、「西いぶり広域連合」の取り組み内容や、他自治体との事務などの共同処理の提起や地方自治法を根拠とする「協議会制度」、「機関等の共同設置制度」などに対する考えをただした。

合葬墓について

米田 登美子



少子・高齢化の現代では、お墓の継承は思いがあっても困難な時代であると認識し早急な対応が必要と感じています。昨年の一般質問の答弁では社会問題化しており、当市においても将来継承者がいないなどの問題が潜むということで、検討することでした。

今回の答弁では、先進地視察など事例研究を開始していることや場所についても候補を挙げており、ニーズの把握については「まず寺院などに現状を確認する」ということでした。

また墓地の現状について質問したところ、経年劣化のお墓の管理については個人の財産なので、管理の要請などはしているが、それ自体困難が生じたり、改善されない場合もあるため、苦慮することもあるとのことでした。そのほか市民ニーズの多い区画割をした第3次の墓地造成についても言及されました。

これらを踏まえ今後の対応について法律的なことを含めた検討と、社会的弱者である方々が墓参しやすいような造成方法についてそれぞれ要請しました。

親の貧困が子どもの学びに 影響せぬように

渡辺 勉



この夏「子どもの貧困率が過去最悪であった」との報道があった。平成21年調査より、0・6%悪

化しており、調査が始まった1984年には、9人に1人の割合だったのが、2012年までに6人に1人、35人学級では、1クラスに5〜6人の子が当てはまる。ひとり親世帯では、2人に1人が生活苦の中、子ども時代を過ごしている。

市内の労働基本調査では、非正規雇用が増加している今、生活苦から抜け出せずにいる親も多く、貧困は子どもの責任ではなく、社会全体で取り組まなければならない事項と指摘した。

④ 子どもの貧困に対する支援について、小中学校入学時に多額のお金がかかる。就学援助制度で支援されているが、支給が5月末と支払い実態とかけ離れているので、早期に支給すべきではないか。

⑤ 検討して5月連休頃に支給したい。

また中学校における部活動費（9万円〜1万8千円）の実態を示し、これでは運動部に入りたくても入れない。部活は大切な中学校教育の一翼、PTA会費のように、就学援助の支給項目とすべきとたまたました。

人口減少に歯止めをかける 施策について

工藤 俱二雄



本市の人口は、「国勢調査」によると平成7年の5万6千82人から、平成17年の5万3千135人と10年間で3千7人

（減少率6・6%）が減少しています。平成7年から平成17年の年齢区分別人口をみると、「15歳未満の年少者人口の減少が著しく、平成7年の8千349人から、平成17年の6千509人と10年間に1千840人（減少率22・0%）が減少し、また「65歳以上の高齢者人口は、平成7年の9千149人から、平成17年の1万3千65人と10年間に3千916人（増加率42・8%）の増加」となっており、本市では人口の減少とともに少子高齢化が進行しています。

① 人口減少に歯止めをかける為に
② 住みたくなくなる登別の施策について
③ 生産年齢人口を増やす施策について
④ お母さんの目線で幼児・児童の教育や健康の推進を図り、さらには子育てをしながらの女性の雇用の創出の施策について

⑤ 企業を誘致し雇用の場を創出する施策について
⑥ 今後人口減に伴い市税が減収し、公債費率も悪化する見込みの中で、水道や新庁舎・消防・給食センターなど行政が推進する大型公共投資へのビジョンについて

市民の生活向上を基本にいつまでも住んでみたい登別市の各施策をただしまた。

介護保険について

佐々木 久美子



介護保険と医療療養を見直す「地域医療・介護総合確保法」が、今年6月に成立したことに伴い、来

年4月から始まる本市の「第6期介護保険事業計画」や「地域包括ケアシステム」を策定するにあたり、どのような影響があるのかたまたました。

① 要支援1や2の認定を受けている方の今後の対応については。

② 訪問介護や通所介護は保険給付からはずれ地域支援事業に移行する。

③ 要支援者が利用している訪問介護、通所サービスが今後、現在の内容・水準から後退しないのか。

④ サービスの水準が後退しないよう取り組む。

⑤ 特別養護老人ホームの待機者は。緑風園のみで12名。

⑥ 今後特別養護老人ホームへの入所が要介護3以上に限定されるが、要介護2以下の認定を受けている方の今後の対応は。

⑦ 自宅で訪問介護や通所介護を受けるか、ケアハウスや有料老人ホーム等に入所することになる。

⑧ 利用者負担の見直しについては。

⑨ これまで一律1割となっている利用者負担が、一定の所得の方は自己負担が2割となる。

来年度以降の 教育委員会の運営は

高橋 正美



第186回国会で、教育行政の中心的役割を果たしている「教育委員会制度」を大きく変える地方教育

行政の組織及び運営に関する法律の改正案が提出され、両院で可決・成立し、平成27年4月1日に施行されることから、今後の教育委員会の運営をどのように考えているのか。懸念や課題を含め何点が質問しました。

① 来年度以降の教育委員会の運営について、どのように考えているのか。

② 教育委員会は、これまでも日常的に市長部局と連携を図りながら教育行政を推進してきた。法改正では、迅速な危機管理体制の構築や責任体制の明確化、首長との連携強化などが求められており、執行機関としての教育委員会の政治的中立性の確保や研修の充実などによる事務局職員の資質向上を含めて、教育委員会に期待される役割を十分に果たせるよう努める。

以上の通り、今回は法改正で、首長による新教育長の任命・罷免権の確立や「総合教育会議」の主宰など、教育への首長の大規模な関与と拡大となったため、政治的中立性確保の観点から質問しました。

全市民安全のための

消防力のあり方!

杉尾直樹



今回の質問は大綱2件「将来の消防力のあり方」と「放課後の児童保育」について、市として国の

取り決めへの対応や取り組みについていただきました。

消防力のあり方については、大きく3つの観点から質問や提案をしました。

①全体の消防力のあり方として、現状の活動範囲や特性を示し、今後の本庁舎建て替えについて提案しました。

②登別支署と登別温泉支署の統合について経緯などを聞き、機能充実や住民理解を訴えました。また建設構想の策定時期については平成27年度中に、利用開始は平成31年から32年との答弁がありました。

③消防団の充実強化については、平成27年度から手当や装備品などを充実し、活動内容も広げるとの答弁を頂きました。

放課後の児童保育については、国から出された「放課後子ども総合プラン」への対応について「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」「児童館」の連携と拡充の方針をただし、「女性が輝く社会」や「全ての児童の安全・安心な居場所づくり」の実施を提起しました。

東京五輪開催を見据えた

地域の活性化

成田昭浩



代表選手の育成と支援についての現状と今後の展望は。

○ オリンピックやパラリンピックで、

地元選手が活躍することは地域の活性化はもとより、子どもたちの大きな目標となり、夢と感動を与えることになる。

本市においては、子どもたちがスポーツに親しむ環境づくりに努め、全国全道大会への出場を支援する助成制度を実施している。

今後一流選手を招き、模範演技や実技指導、講演会などトップクラスの選手と触れ合える機会の創出、各競技団体や総合型スポーツクラブと連携した事業の企画など、子どもたちが夢を持つてスポーツに打ち込めるよう施策の方向性を探りたい。

またスポーツツーリズムについては、スポーツの振興と観光の融合により、地域の活性化を目指すという、今まさに取り組むべき施策である。教育部門と観光部門などの所管がまたがる施策に対し、縦割りのな体制や考え方ではツーリズムという新たな発想が生まれづらく、調整や決定もできにくい。庁内組織や人材、情報の受発信など課題を精査し、国や他自治体の動向に注視しながら取り組むべきと提言した。

大雨による減災と

認知症高齢者を守る

二瓶秀幸



8月20日に甚大な被害があった広島県土砂災害を教訓に、大雨による防災・減災について、また昨

今社会問題になっている認知症高齢者が安心して暮らせる地域づくりについての2件を質問した。

本市はオフレ山系により道内でも年間降水量が最も多い市町村の一つで、これからは異常気象も頻繁に起こると想定した対策が必要との思いから、土

砂災害危険箇所状況、河川の中洲対策や水位情報の周知方法、下水道の雨水対策、避難所の現状などについてた

だした。土砂災害警戒区域は26箇所その区域内には避難所も数箇所ある。登別温泉地区ではホテルなどの上階の方が安全な場合があるので、避難所利用について民間施設との協議を進めて行くとの答弁があった。

認知症高齢者については、今年4月名古屋高裁で認知症患者の徘徊による電車事故で死亡した男性の遺族に対して損害賠償を命じた判決が出たこともあり、**社会が守っていく必要がある**との思いから、SOSネットワークの構築や認知症サポーターなどの取り組みをた

地域包括ケアシステム構築

について

木村純一



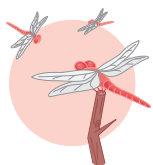
登別市地域包括ケアシステム構築の本

市のこれまでの取り組みと今後の考え方についてた

た。地域包括ケアシステムは、保険者である市が地域の自主性や主体性に基づき、地域特性に応じて作り上げていくものと認識しておりますが、この地域特性について、どのようにとらえているのですか。

○ 2025年に向けて、札幌市などの都市部と比較し、本市の75歳以上の人の増加は緩やかなものの、総体の人口は減少するものと推計しています。

本市においては、NPOや町内会、老人クラブ、ボランティアなどの自主的な市民活動が、他市町村と比較しても活発に行われており、地域の多様な担い手を活用して、高齢者の在宅生活の安心を確保することを目的としていることから、これからの地域包括ケアシステムの構築にあたりましては、地域特性である自主的な活動を続けるさまざまな団体と協議しながら進めてまいります。



平成26年度補正予算審査

二瓶秀幸

ふるさと納税制度について、今まで基金積立は150万円から300万円だったが、今年1千万円と大幅に増えた要因は登録産毛ガニが好評との事だったが、量が確保できず締め切りとなった。

今後エソシカ肉などの特産品メニューを増やす案や、人気特産品確保の策をたじた。

石山正志

予防接種経費として、新たに水痘と成人用肺炎球菌ワクチン接種事業が追加された。予防接種法では、市町村が実施すると規定され財政負担も大きい。伝染性疾病の予防など公衆衛生対策は国の責務であり、その費用も全額国が負担すべきである。全国市長会などを通じ強く訴えるよう促した。

渡辺勉

耐用年数約15年と考えられた市民プール内のパネルヒーターの配管が、設置後10年で腐食し漏水したことによる改修について、利用者は水着を着用してプールを利用することから安全を第一に、プールの長寿命化や早期修理で経費節約を図るため日常的な点検をきちんと行うべきとたたじた。

高橋正美

自動車関連人材育成事業で緊急の雇用創出見込みが2名となっているが、どのような方の雇用を考えているのか。

答 自動車整備業務に1名、受付などの業務に1名だが、未経験者であっても若くて意欲のある方や女性の方の採用も積極的に行いたい。

委員会だより

議会運営委員会

議長諮問事項の協議を続行し、議会からの積極的な政策提案等に向け、議員・委員会・会派の取り組みフロアへの明示と、議員個々の提起を議会意思として確立する「議員間の協議の場の設置要綱」を改正するべく協議を行いました。また、これらを充足する目的で、政務活動費は平成17年度以前と同額の一人月2万円の交付、委員会視察調査費は平成18年度以前と同じ毎年度実施することで、各会派の調整を行いました。そして、議会基本条例の理解と基本条例に基づく活発な議員・議会活動の推進を目指し、自己評価のためのチェックシートを作成することにしました。

観光・経済委員会

本委員会は10月3日に(株)北海道マリンパーク関係者と今後の展望などについて意見交換を行いました。

同社からは須川支配人と木津総務部長が出席しました。須川支配人から昨年度の入込客数が31万8千人を記録し、中でも台湾からの入込が大きく伸びたことや、シンガポール、タイの入込も前年度を上回ったと報告されました。その上で須川支配人は入込の少ない韓国を含めた広い地域からの誘客や道内客にリピーターになってもらえるかが課題であり、今後の展開としてクルーズ船の個人ツアー客の誘客に力を入れたいと話されました。意見交換後は施設を視察しました。

総務・教育委員会

年間活動計画に基づき、7月19日に土曜授業の現地視察を緑陽中学校で行いました。

当日は参観日で、保護者が多数来校されている中、各委員は時間の許す限り複数のクラスの授業を見学しました。

活発な授業の状況や、パソコンを活用した理解しやすい授業など充実した様子を視察することができました。

授業参観前には、校長から土曜授業実施に至った主旨や経緯などの説明を伺い、各委員が質問をし、理解を深めました。

土曜授業は、今年度の成果や反省を踏まえ次年度以降も実施となるようですが、今後の取り組みについても委員会として把握に努めます。



▲緑陽中学校で土曜授業の説明を受ける様子

生活・福祉委員会

8月18日、伊達市を視察しました。①「太陽の園」が平成24年に新施設を建設したことから、施設の概要や施設設備のファシリテイマネジメントについて

②伊達市役所では障がい者福祉政策について
③障がい者が重くても住み慣れた地域で暮らしたいとの思いを実現したグループホーム「野ぶどう」について

④障がいのある方に作業や日中活動の場を提供する「ふみだす」の就労支援サービスの状況や在宅者入浴支援事業「伊達湯つたり館」について

現地調査をそれぞれ行いました。行政の支援に加え、住民の理解と就労の場を提供する企業の理解が障がいのある方にとって地域で暮らせることにつながると感じました。



▲ケアホーム「野ぶどう」で視察を行う様子

主な議会活動状況 (平成26年7月～9月)

日	曜日	行 事
7月		
1	火	総務・教育委員会
2	水	議会運営委員会
4	金	平成26年第4回登別市議会臨時会
8	火	市民・前進会派視察 (11日まで)
12	土	公明党会派視察 (15日まで)
14	月	市政クラブ21会派視察 (17日まで)
18	金	議会運営委員会
19	土	総務・教育委員会
28	月	議会運営委員会
8月		
5	火	生活・福祉委員会
12	火	議会運営委員会
18	月	生活・福祉委員会行政視察
20	水	清新会派視察研修
22	金	生活・福祉委員会
25	月	議会運営委員会 観光・経済委員会
28	木	平成26年第3回定例会議案説明 正副委員長会議
9月		
1	月	議会運営委員会
4	木	議会運営委員会
5	金	平成26年第3回定例会本会議「諸報告、議案提案説明、委員会付託又は省略」 予算・決算委員会 (補正予算審査・決算審査) 生活・福祉委員会
8	月	本会議「一般質問」
9	火	本会議「一般質問」 観光・経済委員会
10	水	本会議「一般質問」 議会運営委員会
11	木	本会議「一般質問」 予算・決算委員会 (補正予算審査)
12	金	生活・福祉委員会
16	火	予算・決算委員会 (補正予算審査・決算審査) 議会だより編集委員会
17	水	議会運営委員会
18	木	平成26年第3回定例会本会議「諸報告、残余議案」
29	月	議会だより編集委員会 第7回会派会長会議

※議会・常任委員会活動、会派視察などを掲載しています。

議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議 案	賛成議員	反対議員	結果
登別市税条例の一部改正について	石山、上村 木村 (俊)、工藤 佐藤、杉尾 高橋、成田 二瓶、沼田 松山、村井 山口、米田	佐々木 渡辺	可決

登別市議会事務局

☎85-9220 ファクシミリ 85-0018
メールアドレス gikai@city.noboribetsu.lg.jp

平成26年第3回定例会で可決した案件

【報告】

- 専決処分について
- 平成25年度健全化判断比率の報告について
- 平成25年度資金不足比率の報告について
- 予算・決算委員会の審査結果について
- 生活・福祉委員会の審査結果について
- 行政視察の報告について
- 例月出納検査の結果に関する報告について

【議案】

- 登別市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について
- 登別市税条例の一部改正について
- 登別市児童デイサービスセンター条例の一部改正について
- 登別市障害者地域活動支援センター事業条例の一部改正について
- 登別市教育委員会委員 (堅田裕氏) の任命について
- 登別市固定資産評価審査委員会委員 (柴山徳雄氏) の選任について

平成26年度補正予算

- 平成26年度登別市一般会計補正予算 (第4号) について
- 平成26年度登別市一般会計補正予算 (第5号) について

【意見書案】

- 2015年度予算 (介護) の充実・強化を求める意見書について
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について
- 電気料金再値上げの撤回を求める意見書について
- 「危険ドラッグ (脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書について

【その他】

- 予算・決算委員会の閉会中の継続審査の申し出について

第8回 議会フォーラム

平成26年度の議会フォーラムは、市内の高校生と専門学校生たちから、問題提起や提案等を内容とした質問を頂き、私たち議員が気づかないことや学生たちが考えていることを模擬議会形式で意見交換し、今後のまちづくりへの参考と活用に結び付けることを目的として開催します。

▶日時・場所 11月13日(木) 16時から
登別市役所 議場

▶テーマ 『言わせて!!』

▶各学校の質問項目

- ・日本工学院北海道専門学校
「子供の貧困について」
- ・北海道登別青嶺高等学校
「市内バスの運行及びバス停前横断歩道について」
「学校の老朽化対策、主に冬期間の暖房について」
- ・北海道登別明日中等教育学校
「少子高齢化について」
「市内施設について」

※今年度の議会フォーラムは議員と生徒・学生たちとの意見交換の場となるため、当日来られる市民の方はフォーラムを傍聴する形での参加となりますので、ご了承ください。

※お申込みは不要です。直接会場にお越しください。

▶お問い合わせ 議会事務局 総務グループ



郷土資料館体験学習に参加しませんか

年越しは手打ちそばで教室

日時 11月29日(土)・30日(日) 9時30分～12時30分
対象 18歳以上の方
定員 各日20人(申し込み順)
参加料 1,000円
持ち物 エプロン、三角巾、手拭い2枚、持ち帰り容器、上履き
申し込み 11月7日(金)～20日(木)に郷土資料館(☎1339)



包丁とぎ体験

日時 12月6日(土)10時～12時
対象 18歳以上の方
定員 20人(申し込み順)
参加料 100円
持ち物 包丁2・3丁、雑巾
 ※包丁はケースに入れるか、布に包んで持参。
申し込み 11月12日(水)～12月2日(火)に郷土資料館(☎1339)



2015年しめ飾りづくり

日時 12月14日(日)10時～12時
対象 小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)
定員 30人(申し込み順)
費用 しめ飾り1つにつき300円
 ※1家族2つまで。
申し込み 11月19日(水)～12月3日(水)に郷土資料館(☎1339)



平成27年 登別市成人祭

問い合わせ 社会教育グループ
 (☎1154)

日時 平成27年1月11日(日) 13時～15時(12時から受け付け)
場所 市民会館
対象 平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの方
 ※対象者には12月に案内状を送付します。
 ※市外に住民票がある方もご連絡いただければ出席できますので、詳しくは問い合わせください。



と な り ま ち ・ ホ ッ ト ラ ン

白老町

北の縄文パネル展

縄文文化は温暖湿潤な気候のもと約1万年もの間自然と共生し、狩猟・漁労・採集をしながら定住生活をして繁栄した新石器時代の文化です。胆振管内では縄文遺跡が多数発掘されており、地域の貴重な文化資源である縄文文化の価値や魅力を発信します。
▶日時 11月26日(水)～12月10日(水)
▶場所 白老コミュニティセンター
▶内容 縄文文化についてなど60枚
▶問い合わせ 北海道胆振総合振興局環境生活課(☎240780)

室蘭市

満9歳かもけん誕生記念 科学館祭

巨大シャボン玉や工作教室、室蘭工業大学ロボットアリーナの特別企画などを行います。各教室の整理券は、当日10時から配布します。
▶日時 11月2日(日)10時～16時
▶場所 室蘭市青少年科学館
▶入館料 300円(高校生100円、中学生以下と70歳以上は無料)
▶プラネタリウム入場料 140円(高校生50円、中学生以下40円、幼児は無料)
▶問い合わせ 室蘭市青少年科学館(☎21058)

伊達市

韃まつり

韃とは、金属の精錬や加工に欠くことのできない火をおこし、火力を強めるために使用する道具です。刀工など火を扱う職人が韃を清め、火の神に感謝するとともに、技能向上や一年間の作業の安全祈願をする、年に一度のおまつりです。また、黎明観刀鍛冶工房前では、刀剣類の常設展示をしています。
▶日時 11月9日(日)10時～
▶場所 黎明観刀鍛冶工房
▶問い合わせ 伊達観光物産公社(☎01425567)